BUFFALO™

Wi-Fi中継機
WEX-1166DHPL/N

ユーザーマニュアル

https://www.buffalo.jp/

35022874-01
2024.05

本書について

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 本書では、ネットワークに接続される機器(パソコン、サーバー、スマートフォン、タブレット、ゲーム機、Wi-Fiルーター、Wi-Fi中継機、ハブ、プリンターなど)を含めて、「機器」と記載しています。
- 本書で記載している「記号」は、環境依存文字ではない下記の半角文字をあらわします。
  ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ;< = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ および半角スペース
  「¥(円マーク)」は、使用環境によって「\ (バックスラッシュ)」表示になる場合があります。

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

目次

本書について 1
操作方法について 1

第１章　本製品の概要と使い方 5

本製品の特長 5
動作環境 5
本製品の設定を変更するには 6
スマートフォン・タブレットをお使いの場合 6
Windowsをお使いの場合 8
Macをお使いの場合 13
本製品を2台使って、通信距離をさらに伸ばす 18
ステップ1　1台目を接続する 18
ステップ2　2台目を接続する 19
お使いの機器から確実に本製品へ接続する（中継機用SSIDの使用） 22
Windowsの場合 22
Macの場合 23
iOSの場合 24
Androidの場合 25
アクセス可能な機器を制限する（MACアクセス制限） 26
Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を本製品にも適用する場合 26
Wi-Fiルーターと各機器間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信だけを許可する場合 28
本製品のIPアドレスを変更する 29
Windowsをお使いの場合 29
Macをお使いの場合 35

本製品の設定を保存･復元する 40
設定を保存する 40
設定を復元する 41
本製品のファームウェアを更新する 42
自動的に更新する場合 42
手動で更新する場合 43
ランプを消灯する 43

第２章　設定画面の詳細情報 44

トップ画面 44
中継機設置ガイド 46
無線親機とWPSでつなぐ 48
無線親機を選択してつなぐ 48
無線設定 50
オンラインアップデート 51
詳細設定画面 52
LAN 52
2.4 GHz(11n/g/b) 53
5 GHz(11ac/n/a) 56
MACアクセス制限 59
中継機能(WB) 60
システム設定 62
ログ 64
設定管理/再起動 65
ファームウェア更新 66
システム 68
ログ 69
通信パケット 70
診断 71

第３章 困ったときは 72

Wi-Fi接続が切れる/不安定、通信が遅い 72

Wi-Fiでつながらない 73

設定画面が表示できない 74

POWERランプが点灯しない 74

設定を出荷時の状態に戻したい 74

付録 75

製品仕様 75

初期設定一覧 76

電波に関する注意 79

Wi-Fi（無線LAN）製品ご使用時におけるセキュリティーに関する注意 80

免責事項 81

商標・登録商標 81

第１章　本製品の概要と使い方

本章では、本製品の各種設定について説明します。

本製品の特長

中継機設置ガイドに対応
Wi-Fiルーター（無線LAN親機）、Wi-Fi中継機（無線LAN中継機）、Wi-Fiアダプター（無線LAN子機）の通信状態が一目で分かり、最適な設置場所をガイドします。

ビームフォーミングに対応
ビームフォーミングは、機器にめがけて集中的に電波を送信する機能です。
機器の位置や距離を判別し、電波を適切に届けることができます。

メモ:
- ビームフォーミングは、常に有効に設定されています。無効にできません。
- ビームフォーミングに対応した機器に対して使用できます。

動作環境

本製品とWi-Fi接続するときの対応機器
Wi-Fi機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット、ゲーム機など

本製品を設定変更するときの対応機器・対応OS・対応ブラウザー
＜対応機器＞
パソコン、Mac、スマートフォン※1、タブレット※1
＜対応OS＞
Windows 11/10※2
macOS 11以降
iOS 15以降
iPadOS 15以降
Android 9以降
＜対応ブラウザー＞
Microsoft Edge、Chrome、Firefox、Safari

※1　標準搭載のブラウザーを使った初期設定（インターネット接続設定）のみ対応しています。
※2　64ビットと32ビットに対応しています。

本製品の設定・利用時に使用するソフトウェア
以下ダウンロードページの記載を確認してください。
https://86886.jp/wex-1166dhpl_n_s/

本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

本製品の設定を変更するには

スマートフォン・タブレットをお使いの場合

「**AirStationアプリ**※」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品を設定します。
※バージョン3.0以降、アプリ名称を「StationRadar」から「AirStationアプリ」に変更しています。本書では、AirStationアプリを使用した例を説明しています。

メモ:

- AirStationアプリは、App StoreまたはGoogle Playでダウンロードできます。
- スマートフォンやタブレットを本製品に接続した状態で使用してください。

1 **AirStationアプリ** **を起動します。**

メモ: はじめて起動したときは、「このアプリでできること」が表示されます。このようなときは、[次へ]をタップして画面を進めてください。

2 **AirStationアプリを起動すると、自動的に検索が始まります。本製品が見つかったら、本製品の製品名をタップし、[設定画面を表示する]をタップします。**

3 **セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をタップします。**



メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

4 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。



Windowsをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品を設定します。

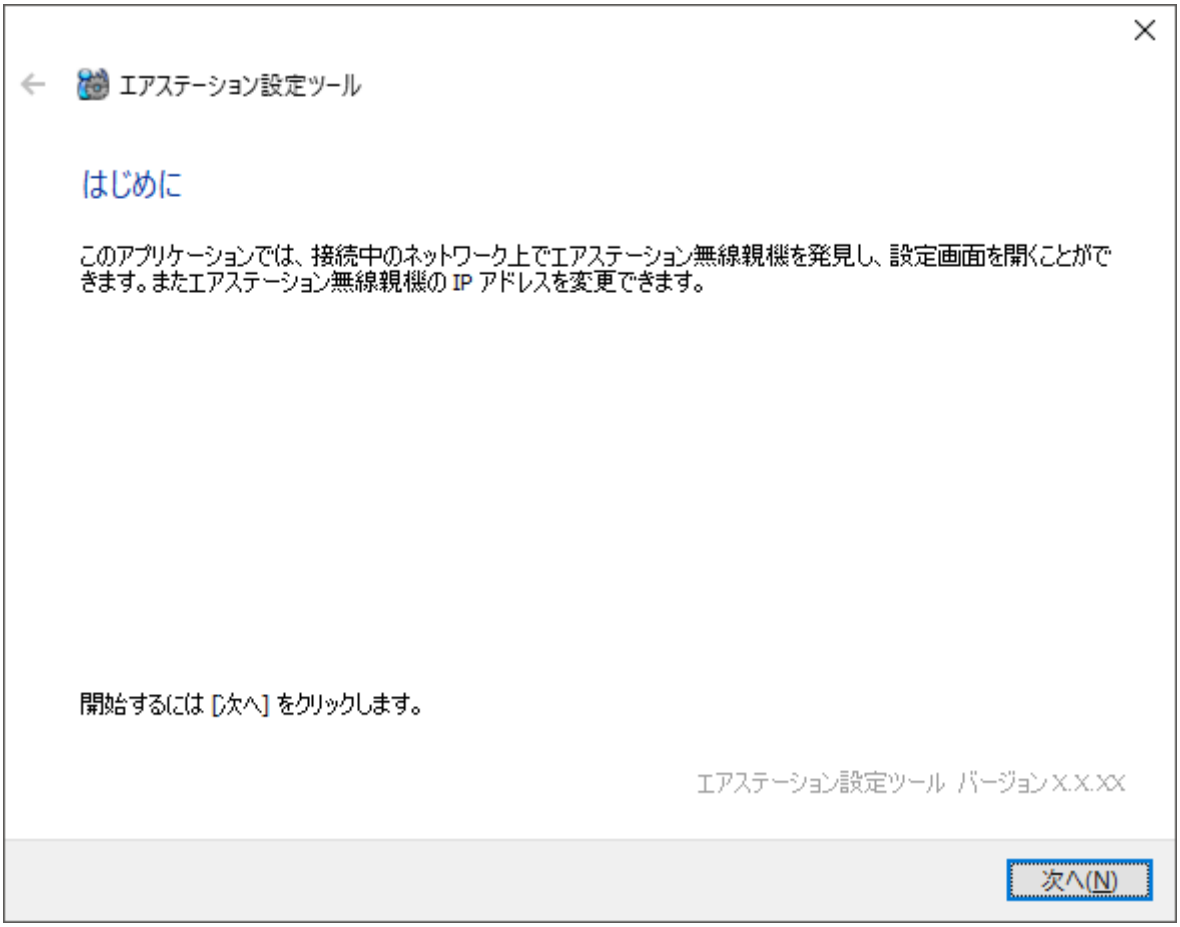
メモ:

- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- パソコンを本製品に接続した状態で使用してください。

1 エアステーション設定ツール を起動します。

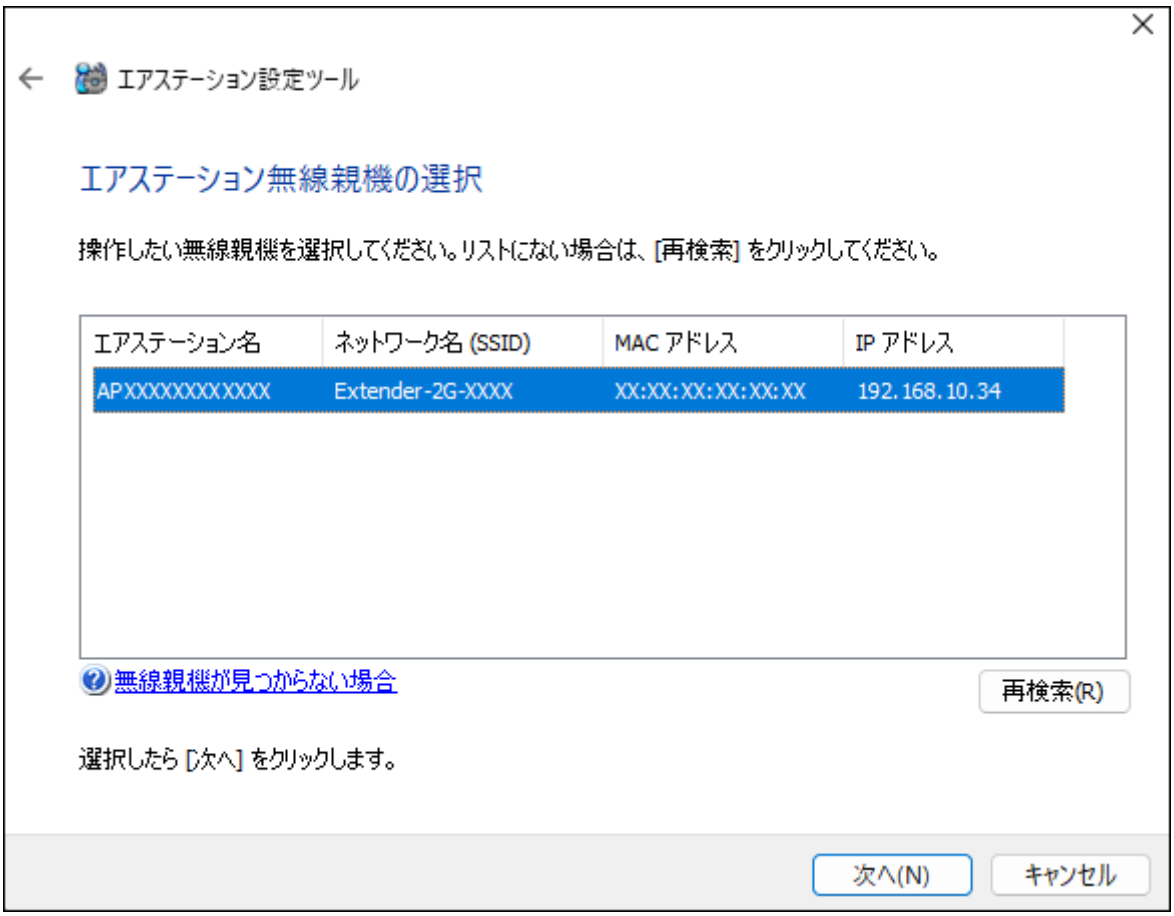
インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプターが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプターを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。



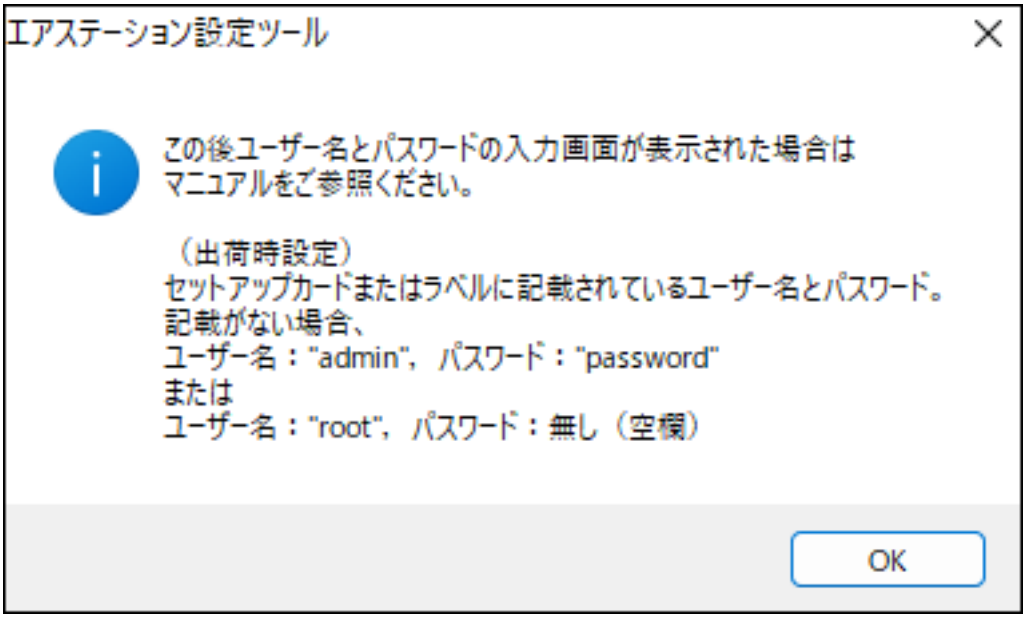
メモ:

- 出荷時状態では、ネットワーク名(SSID)が「Extender」で始まるものを選択してください。
- 「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MACアドレス(本体のラベルで確認できます)で判別してください。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

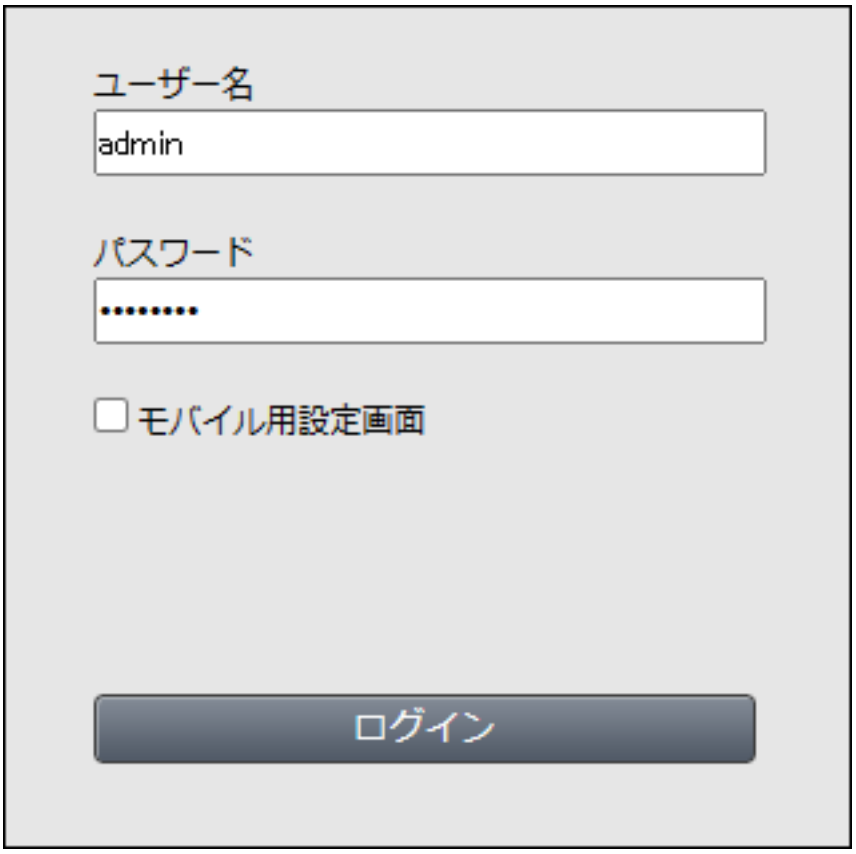


5 [OK]をクリックします。



本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。
その場合は、[このパソコンのIPアドレスを設定する]をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。しばらくすると、パソコンに新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

6 セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。



メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

7 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。



メモ: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

Macをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品を設定します。

メモ:

- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- Macを本製品に接続した状態で使用してください。

1 **エアステーション設定ツール**  **を実行します。**

2 **[続ける]をクリックします。**



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



メモ:

- 出荷時状態では、ネットワーク名(SSID)が「Extender」で始まるものを選択してください。
- 「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MACアドレス(本体のラベルで確認できます)で判別してください。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

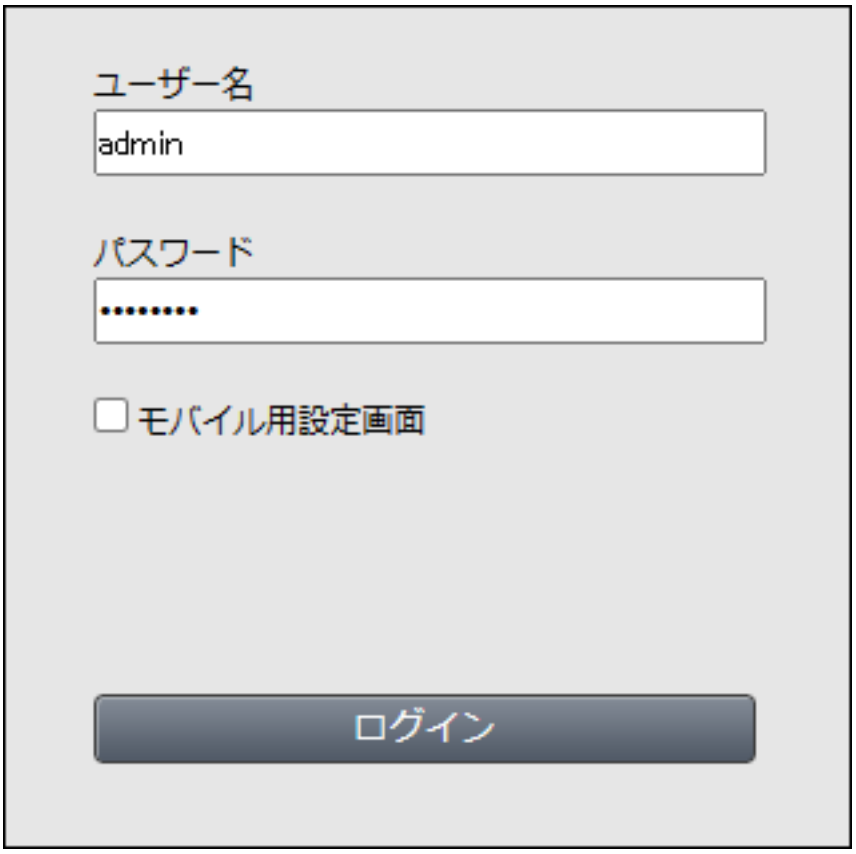


5 [OK]をクリックします。



本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合は、「このMacのIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。Macのパスワードを要求された場合はパスワードを入力して[OK]をクリックします。しばらくするとMacに新しいIPアドレスが設定され、「設定完了」画面が表示されます。[親機選択画面に戻る]をクリックし、もう一度手順3から行ってください。

6 セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。



メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

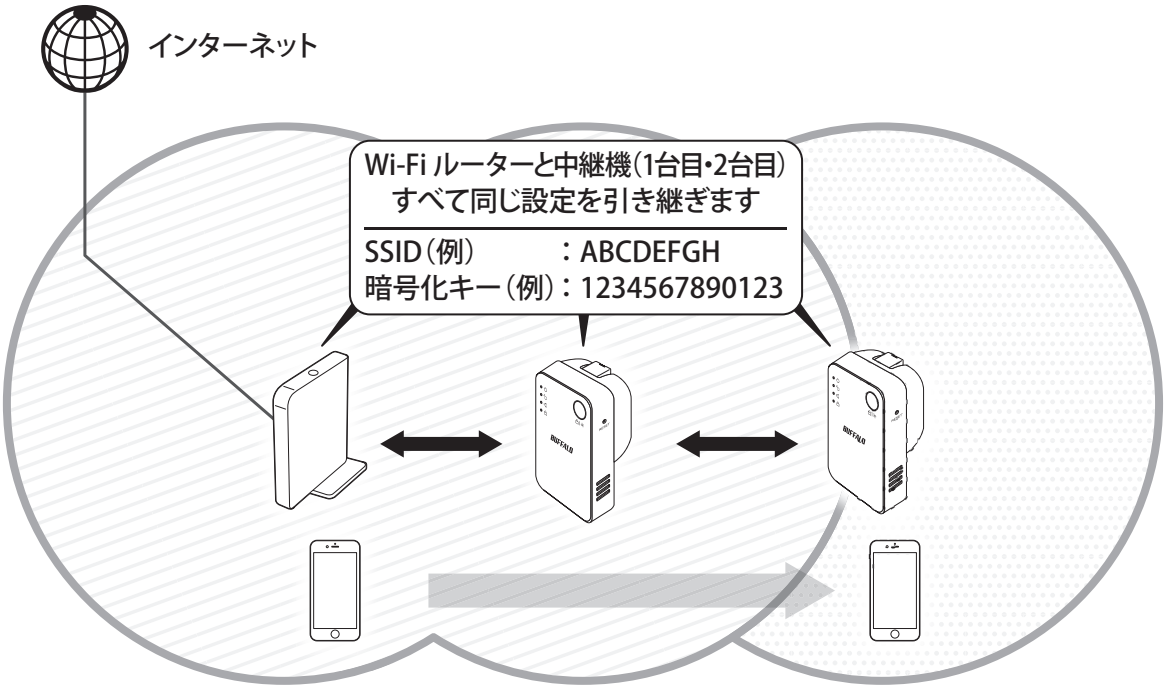
7 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。



メモ: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

本製品を2台使って、通信距離をさらに伸ばす

すでに本製品1台をお使いの場合、本製品の電波が届く範囲内にもう1台の本製品を増設すると、通信距離をさらに伸ばすことができます。ここでは、本製品を2台使って通信する設定方法を説明します。



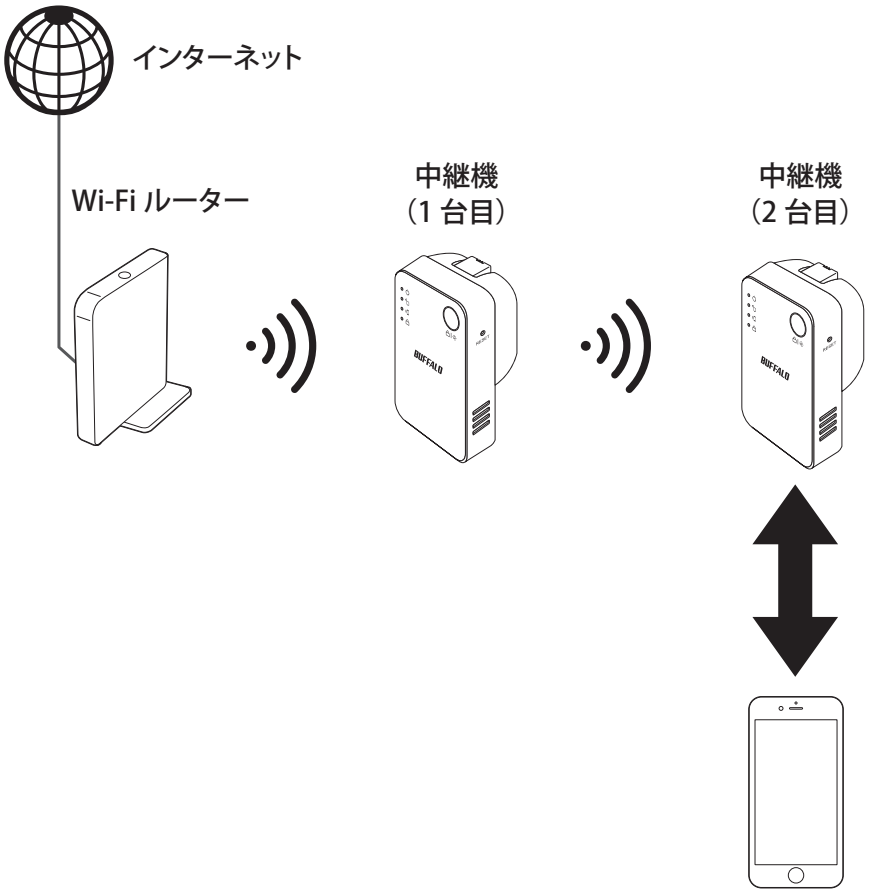
ステップ1　1台目を接続する

Wi-Fiルーターと1台目の中継機を通信できる状態にします。本製品に同梱の取扱説明書を参照して設定してください。



ステップ2　2台目を接続する

1台目の設定が終わったら、本製品同士を接続(2台目を1台目に接続)します。



1 2台目を1台目の近くのコンセントに挿し込みます。約1分後、POWERランプ( )が緑色に、親機接続ランプ( )が橙色に点灯していることを確認します。

メモ: ランプが上記のように点灯していない場合は、本製品側面のRESETボタンをPOWERランプが点滅するまで(約5秒間)押し、上記のようにランプが点灯するまでお待ちください。

2 機器を2台目に接続します。

メモ: 接続方法は、「お使いの機器から確実に本製品へ接続する(中継機用SSIDの使用)」(P.22)を参照してください。

3 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、「本製品の設定を変更するには」(P.6)を参照してください。

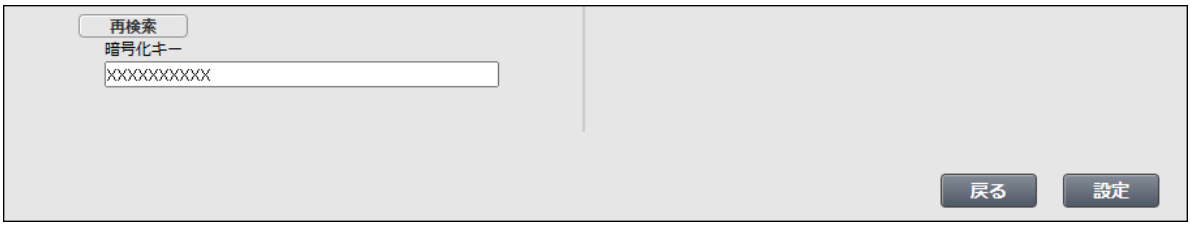
4「無線親機を選択してつなぐ」をクリック（タップ）します。



5「接続先を選択する」を選択し、1台目のSSIDを選択します。



6 選択したSSIDの暗号化キーを入力して［設定］をクリック（タップ）します。



7 本製品同士の接続設定が完了するまで、約2分待ちます。

メモ: この間に本製品は自動的に再起動しますので、手を触れずにそのままお待ちください。

8 約2分後、2台目の親機接続ランプ（ ）が点灯または点滅していれば1台目との接続は完了です。

9 いったん2台目をコンセントから抜き、設置したい場所のコンセントに挿し込みます。

10 約1分後、2台目の親機接続ランプ()が点灯または点滅していること確認します。

メモ: 親機接続ランプが高速点滅または消灯している場合は、本製品同士を近づけ、手順2以降をもう一度行ってください。

以上で2台目の接続は完了です。
お使いの機器が2台目の本製品の電波が届く場所でインターネットに接続できることが確認できたら、すべての設定は完了です。

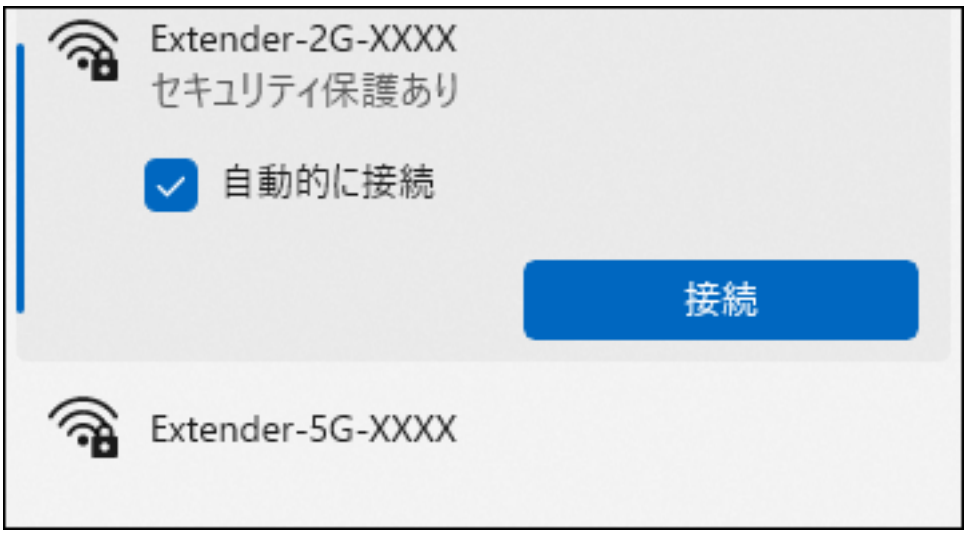
お使いの機器から確実に本製品へ接続する（中継機用SSIDの使用）

本製品をWi-Fiルーターに接続すると、本製品はWi-Fiルーターから引き継いだSSID/暗号化設定で動作します。そのため、お使いの機器や設置環境によっては、電波の弱いWi-Fiルーターから電波の強い本製品に接続が切り替わらないことがあります。
その場合は、本製品が独自に発信する「中継機用SSID」に接続することで、確実に本製品に接続できます。

Windowsの場合

1 **タスクトレイのワイヤレスアイコン（**  **、**  **）をクリックします。**

2 **セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択し、［接続］をクリックします。**



3 **セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、［次へ］（または［OK］、［接続］）をクリックします。**



以上で完了です。

Macの場合

1 **画面上部のバーから、アイコン（ ）を選択します。**

2 **セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択します。**



3 **セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、[接続]をクリックします。**



以上で完了です。

iOSの場合

1 お使いの機器のWi-Fi設定画面を表示します。

2 セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択します。



3 セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、[接続]をタップします。



以上で完了です。

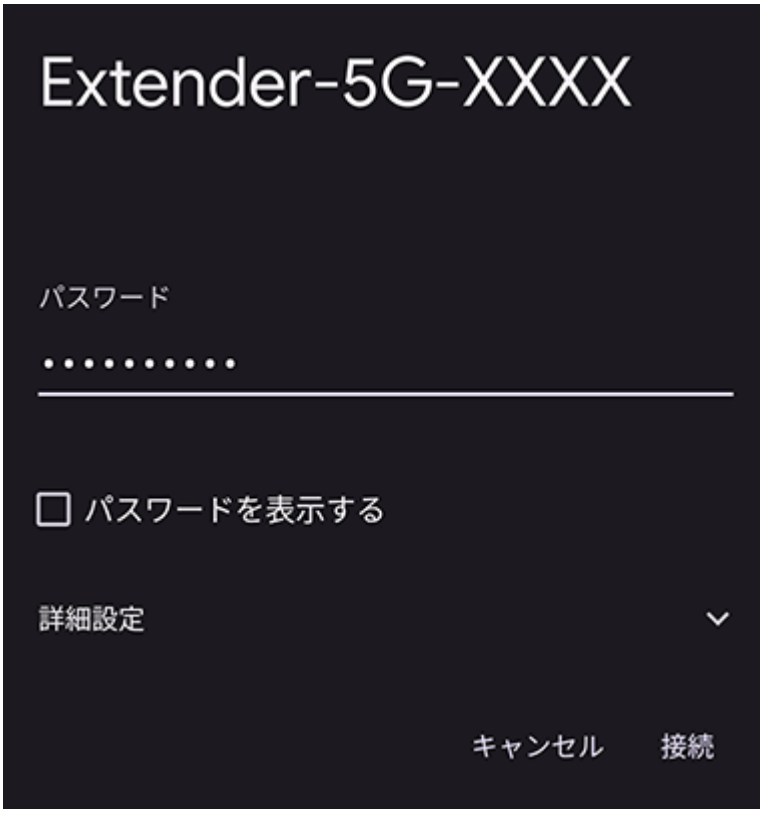
Androidの場合

1 **お使いの機器のWi-Fi設定画面を表示します。**

2 **セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択します。**



3 **セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、[接続]をタップします。**



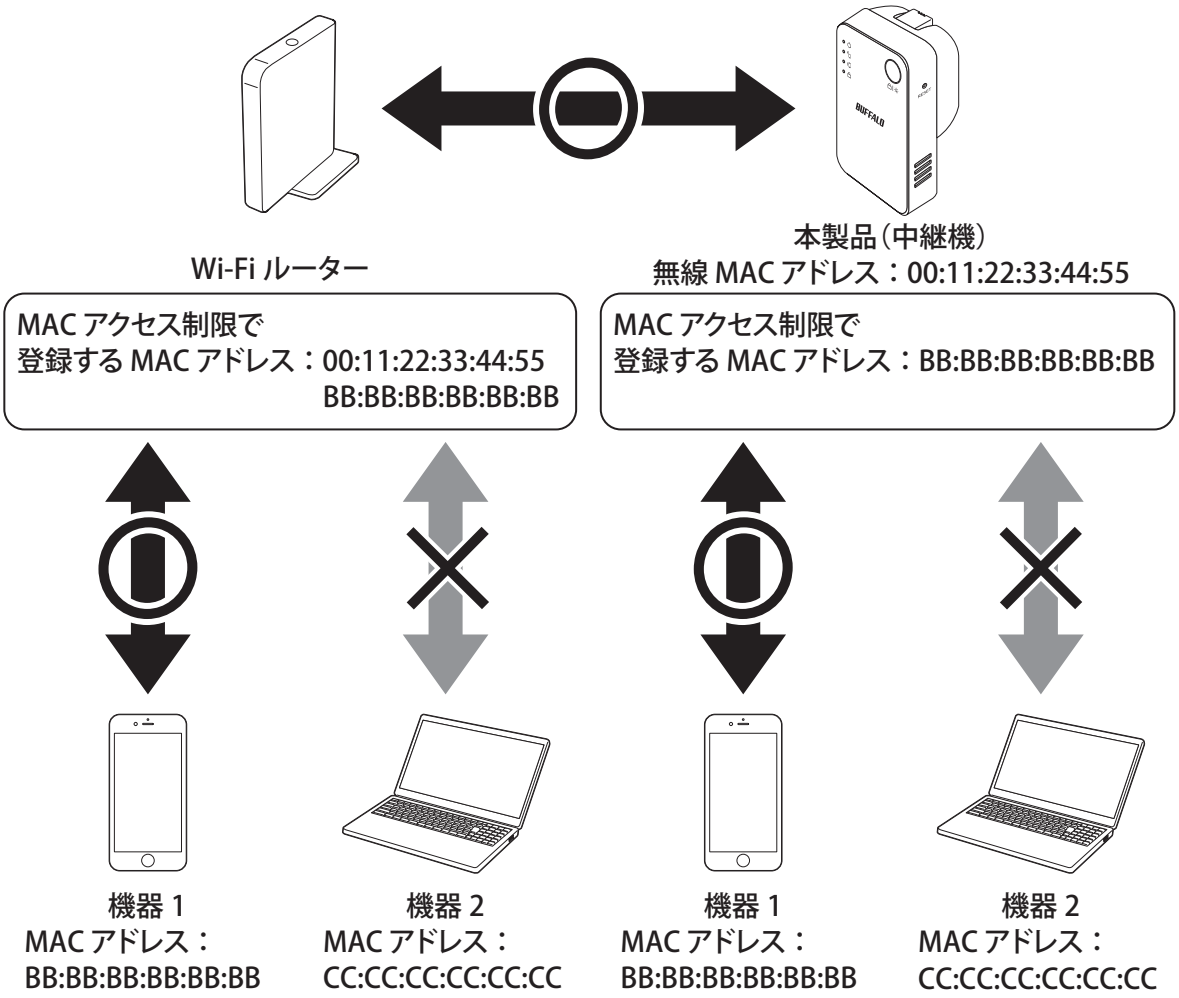
以上で完了です。

アクセス可能な機器を制限する（MACアクセス制限）

本製品に接続する機器のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その機器だけアクセスを許可できます。
ここでは例として、以下の2つの設定を紹介します。

- Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を、本製品にも適用する場合
- Wi-Fiルーターと各機器間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信だけを許可する場合

Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を本製品にも適用する場合



ステップ1　本製品の中継機能のMACアドレスをWi-Fiルーターに登録する

1 **本製品の設定画面を表示します。**

メモ: 設定画面の表示方法は、「本製品の設定を変更するには」(P.6)を参照してください。

2 **「詳細設定」−「ステータス」−「システム」を開き、「中継機能」に記載されているMACアドレスを控えます。**

3 **手順2で控えた中継機能のMACアドレスを、Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定に登録します。**

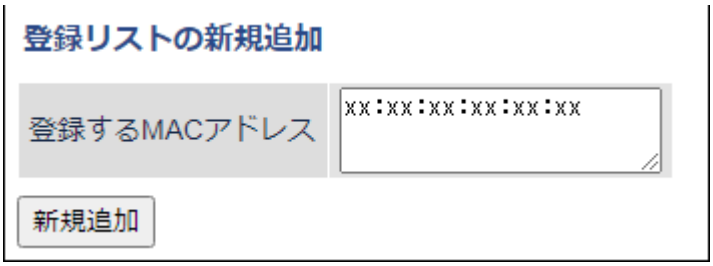
ステップ2 Wi-Fiルーターに登録している機器のMACアドレスを本製品に登録する

1 **Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定で登録している、Wi-Fi接続を許可する機器のMACアドレスを控えます。**

2 **本製品の設定画面の「詳細設定」－「無線設定」－「MACアクセス制限」をクリックします。**

3 **「登録リストの編集」をクリックします。**

4 **手順1で控えたMACアドレスを「登録するMACアドレス」欄に入力し、［新規追加］をクリックして登録します。MACアドレスを入力するときは、2桁ずつコロン（:）で区切って入力します。登録できるMACアドレスは64個までです。**



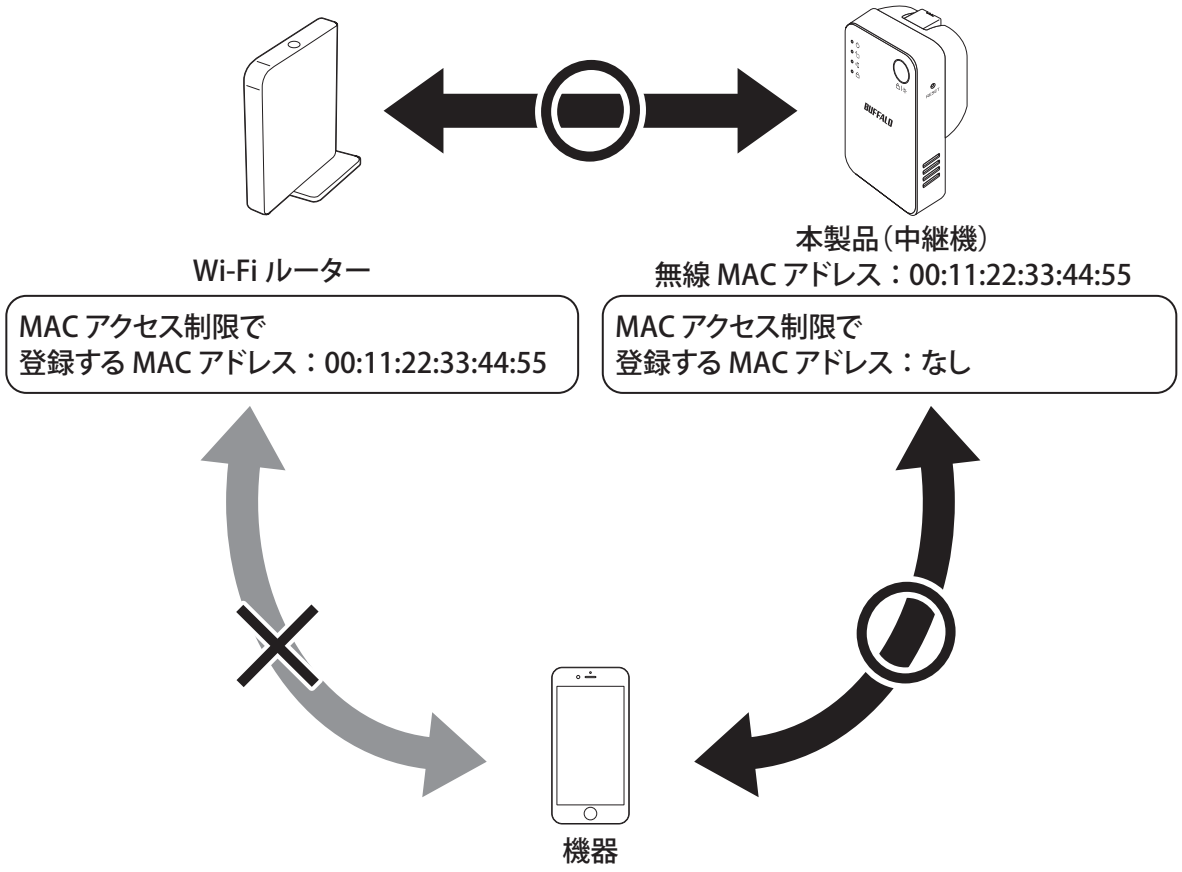
5 **登録が終わったら「編集を終了して前の画面へ戻る」をクリックし、「無線パソコンの接続（2.4 GHz）および（5 GHz）」の「制限する」にチェックを入れて、［設定］をクリックします。**



以上で設定は完了です。

Wi-Fiルーターと各機器間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信だけを許可する場合

Wi-Fiルーターに機器を直接接続することを禁止し、本製品を経由する場合のみ接続を許可する設定です。



1 設定用パソコンで本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、「本製品の設定を変更するには」(P.6)を参照してください。

2 「詳細設定」－「ステータス」－「システム」を開き、「中継機能」に記載されているMACアドレスを控えます。

3 手順2で控えた中継機能のMACアドレスを、Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定に登録します。

4 本製品をWi-Fiルーターに接続します。

以上で設定は完了です。

本製品のIPアドレスを変更する

エアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更できます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windowsをお使いの場合

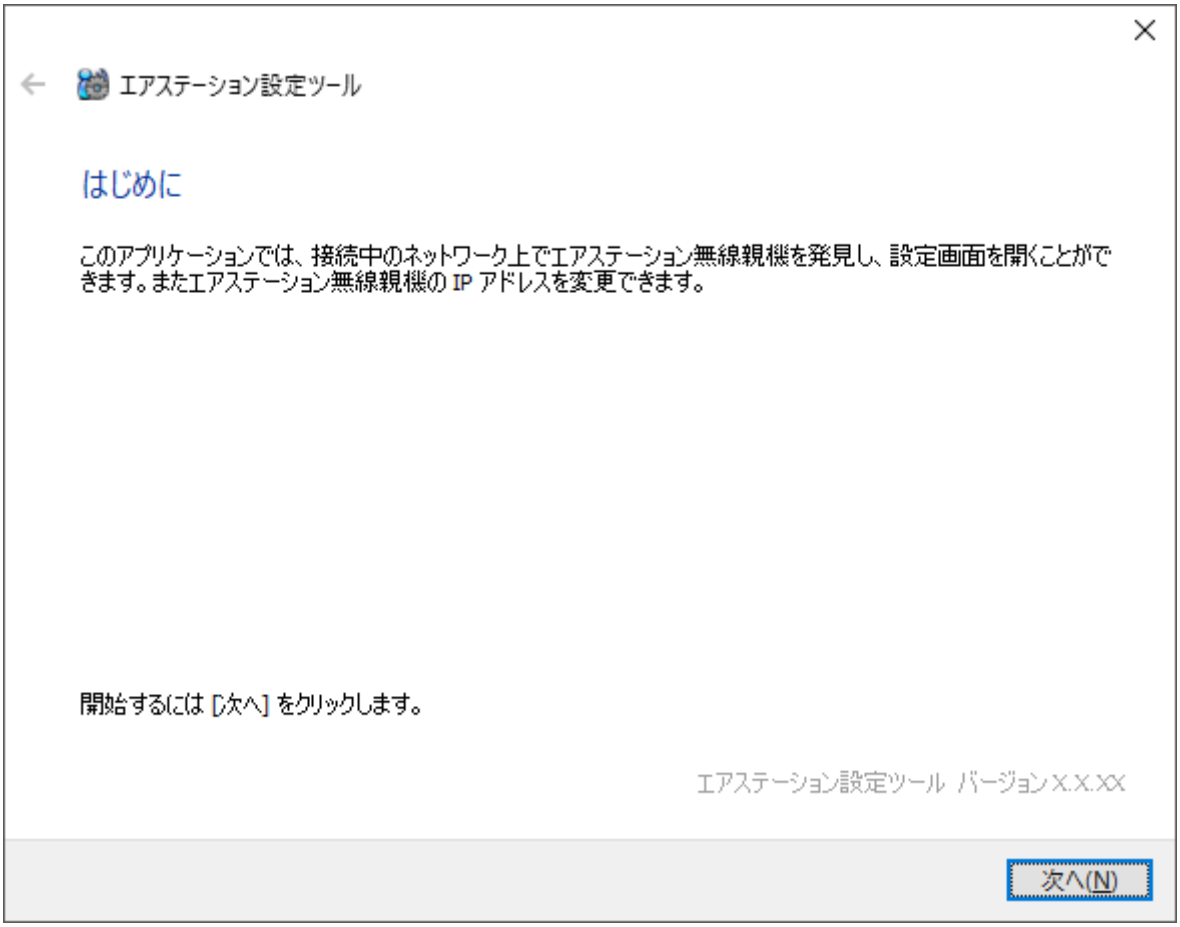
メモ:

- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- パソコンを本製品に接続した状態で設定してください。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面の[詳細設定]－[LAN]－[LAN]からも変更できます。

1 エアステーション設定ツール を起動します。

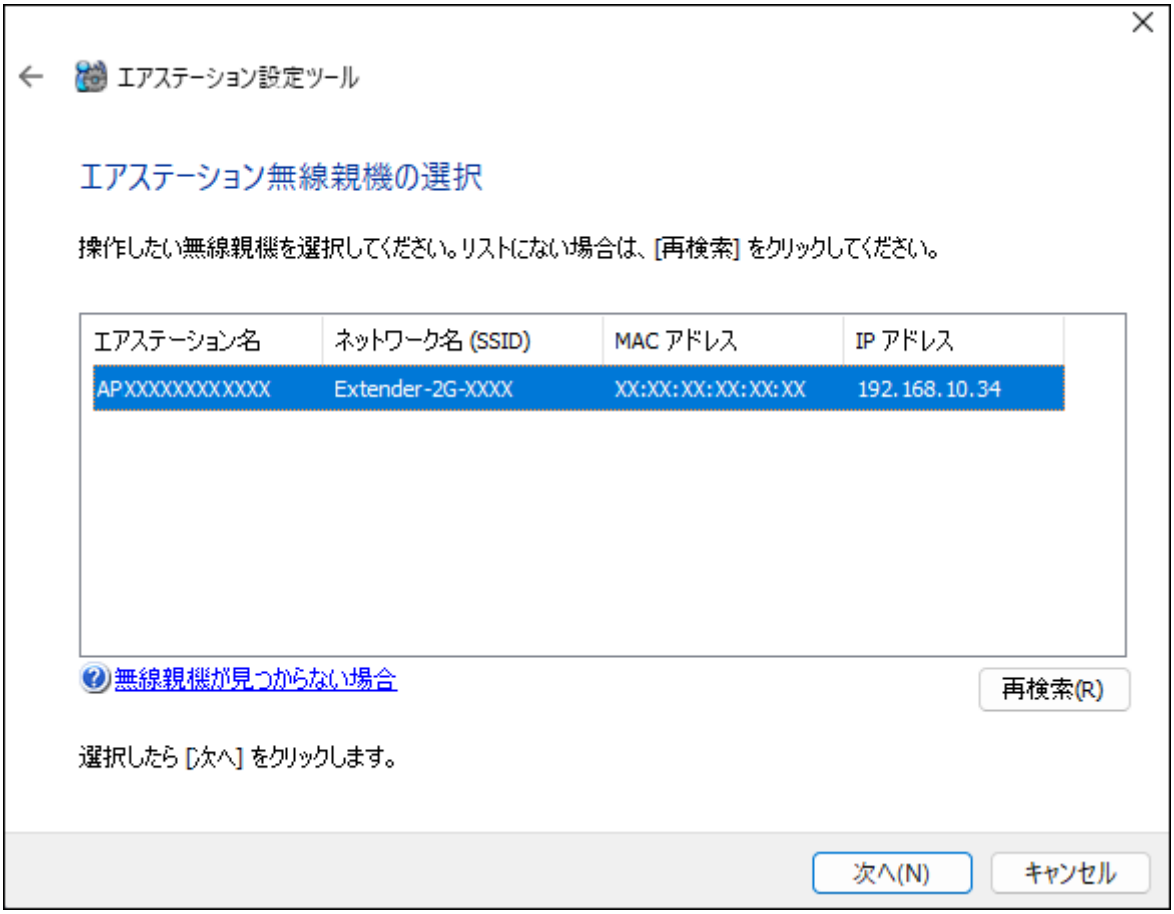
インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプターが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプターを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。



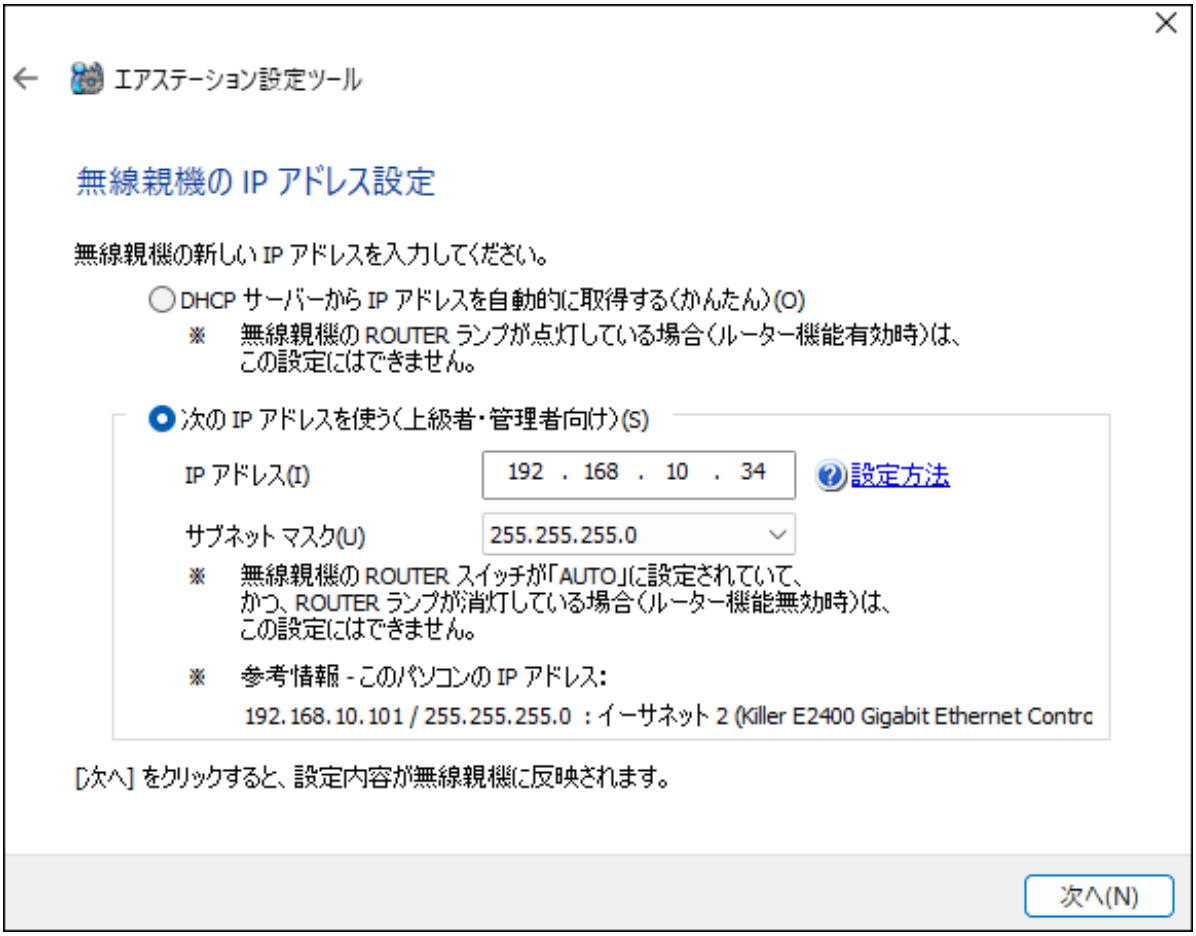
メモ:

- 出荷時状態では、ネットワーク名(SSID)が「Extender」で始まるものを選択してください。
- 「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MACアドレス(本体のラベルで確認できます)で判別してください。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。

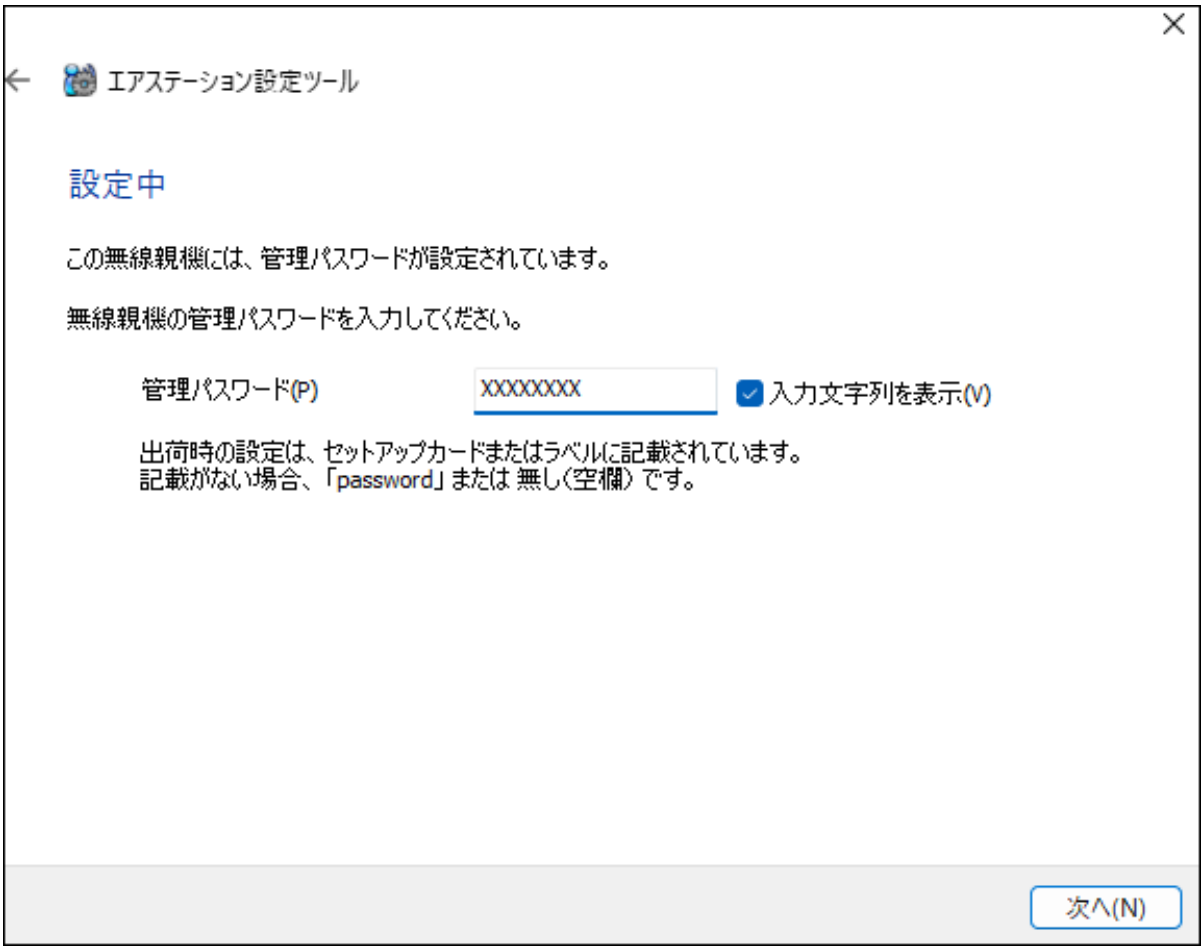


5 新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

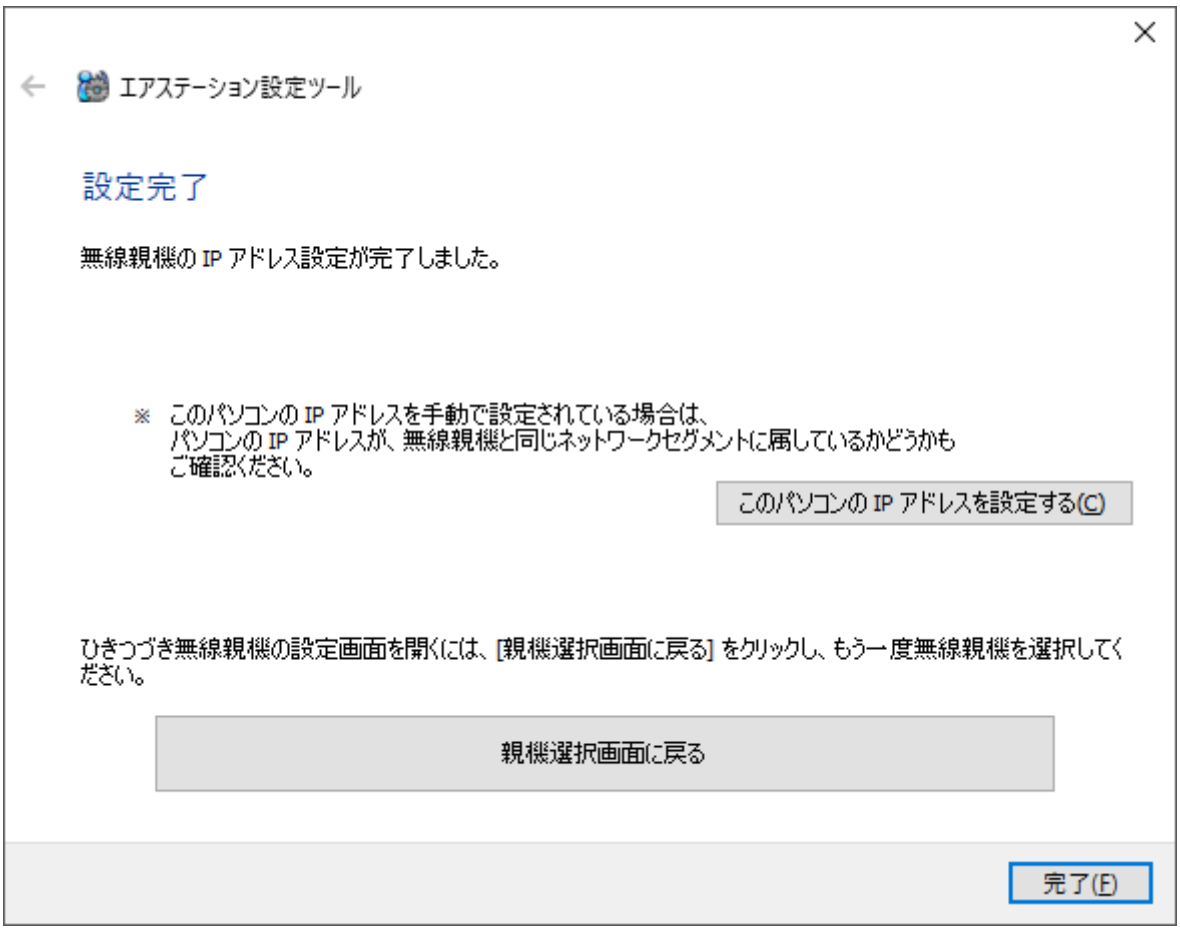


メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい]をクリックしてください。

6 **本製品に設定されている管理パスワード（出荷時状態ではセットアップカードに記載されている「本機ログイン用パスワード」）を入力し、[次へ]をクリックします。**



7 [完了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

Macをお使いの場合

メモ:

- Macを本製品に接続した状態で設定してください。
- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面の[詳細設定]－[LAN]－[LAN]からも変更できます。

1 エアステーション設定ツール  **を実行します。**

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



メモ:

- 出荷時状態では、ネットワーク名(SSID)が「Extender」で始まるものを選択してください。
- 「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MACアドレス(本体のラベルで確認できます)で判別してください。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



5 **新しく設定するIPアドレスを入力して[続ける]をクリックします。**



メモ: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[無視して続ける]をクリックしてください。

6 **本製品に設定されているパスワード（出荷時状態ではセットアップカードに記載されている「本機ログイン用パスワード」）を入力し、[続ける]をクリックします。**



7 [終了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

本製品の設定を保存･復元する

本製品の設定は､設定ファイルとして保存できます｡設定ファイルを使用することで､本製品を再設定することなく､かんたんに以前の状態に復元できます。
たとえば､本製品が故障などで使用できなくなり同じモデルに交換した場合､設定ファイルがあれば交換したものにそれまで使っていた設定を復元できます。

メモ: 設定ファイル作成後に本製品の設定を変更しても､設定ファイルは自動的に更新されません。

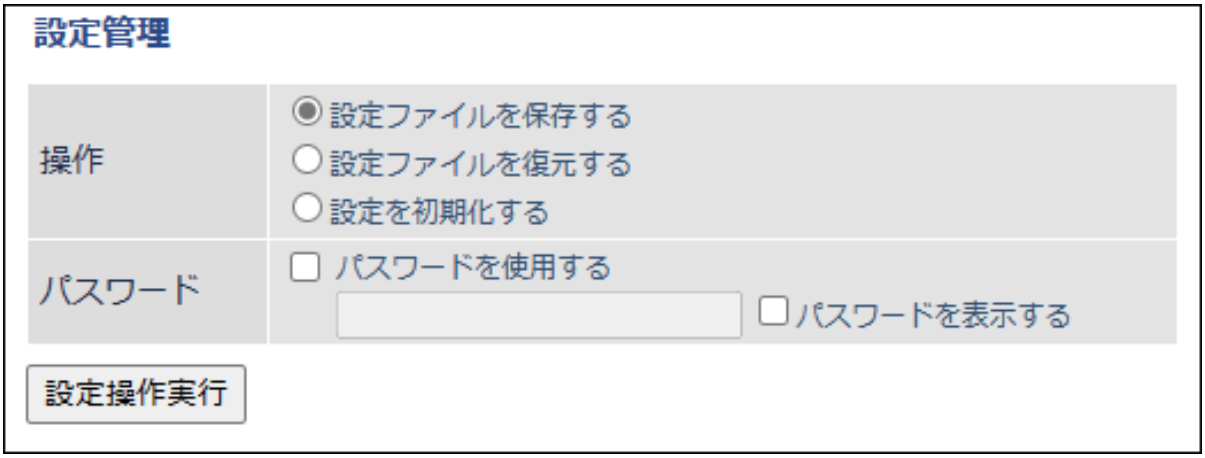
設定を保存する

1 **本製品の設定画面を表示します。**

メモ: 設定画面の表示方法は､「本製品の設定を変更するには」(P.6)を参照してください。

2 **「詳細設定」－「管理」－「設定管理/再起動」をクリックします。**

3 **「設定ファイルを保存する」を選択します。**



メモ:

- 設定ファイルをパスワードで暗号化したい場合は､「パスワードを使用する」にチェックマークを付けて､設定したいパスワードを入力してください。
- パスワードには､8文字までの半角英数字およびアンダーバー(_)が使用できます。

4 **[設定操作実行]をクリックします。**

設定を復元する

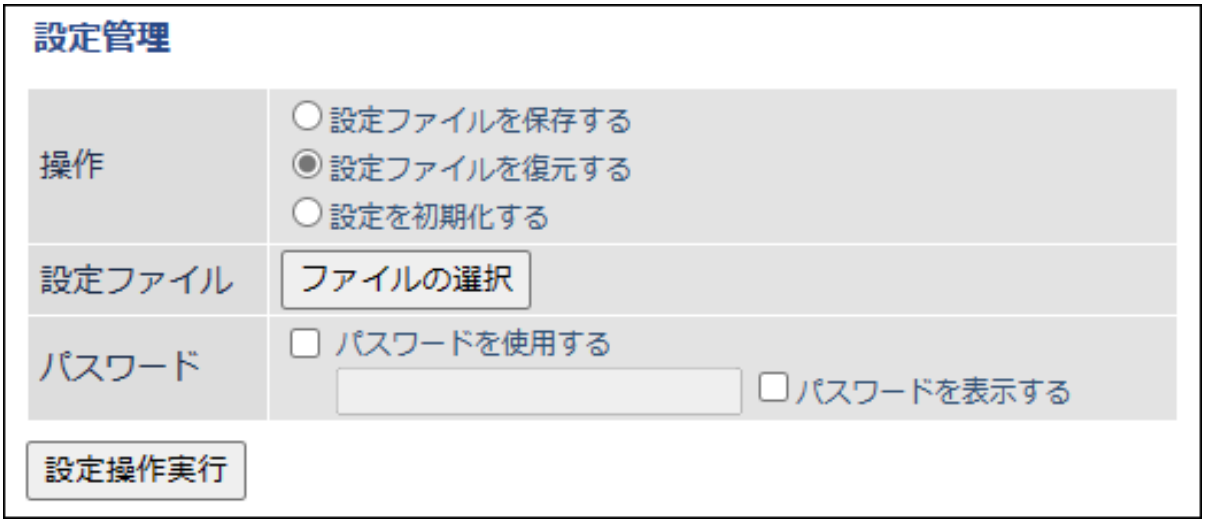
1 **本製品の設定画面を表示します。**

メモ: 設定画面の表示方法は、「本製品の設定を変更するには」(P.6)を参照してください。

2 **「詳細設定」−「管理」−「設定管理/再起動」をクリックします。**

3 **「設定ファイルを復元する」を選択します。**

4 **[ファイルの選択]をクリックし、設定ファイルを指定します。**



メモ: 設定ファイルをパスワードで暗号化している場合は、「パスワードを使用する」にチェックマークを付けて、設定ファイルのパスワードを入力してください。

5 **[設定操作実行]をクリックします。**

本製品のファームウェアを更新する

本製品のファームウェアの更新設定は、2つの方法があります。

自動的に更新する場合

新しいファームウェアが公開された際に自動的に更新する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、「本製品の設定を変更するには」(P.6)を参照してください。

2 「詳細設定」－「管理」－「ファームウェア更新」をクリックします。

3 ファームウェア自動更新機能で「常に最新版に更新する」と更新時刻を設定し、[設定]をクリックします。



メモ:

- 本製品の時刻設定が正しくない場合(画面に  が表示されている場合)は、「管理」－「システム設定」の画面でNTP機能を「使用する」に設定してください。
- ファームウェア更新中は、再起動などにより、本製品に接続している機器が一時的に切断されます。そのため、更新時刻は、本製品を使用していない時間帯に設定することをおすすめします。
- 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のPOWERランプが緑色と橙色に交互に点滅中)は、本製品をコンセントから抜かないでください。

以上で設定は完了です。
設定後に新しいファームウェアがリリースされた場合、上記で設定した時間帯に更新が行われます。

手動で更新する場合

本製品をお使いの方が、お好みのタイミングでファームウェアを更新したい場合は、以下の手順で設定を行ってください。

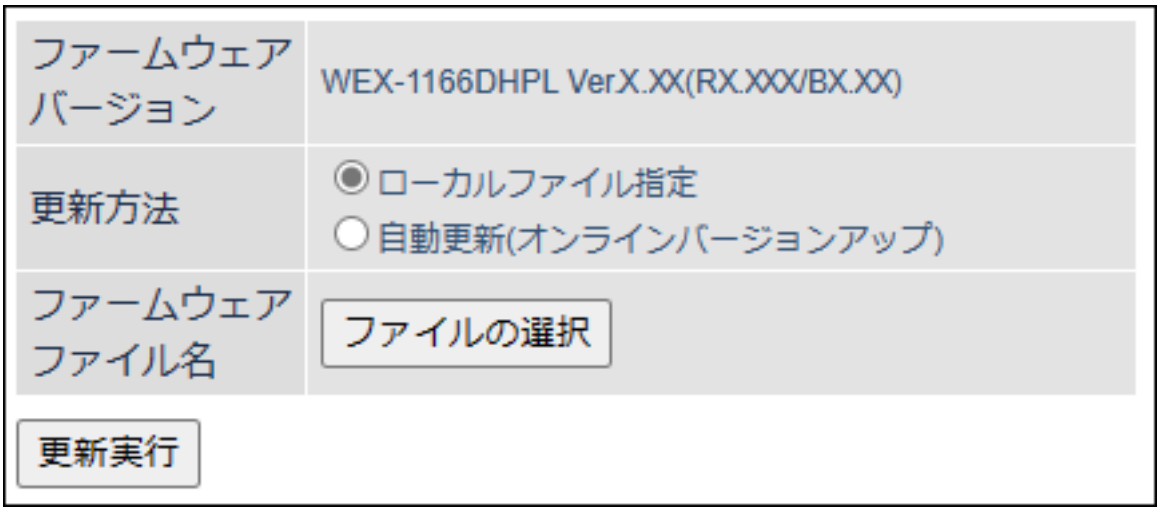
1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、「本製品の設定を変更するには」(P.6)を参照してください。

2 「詳細設定」－「管理」－「ファームウェア更新」をクリックします。

3 ファームウェアを更新します。

ファームウェアファイルがある場合は、[ファイルの選択]をクリックしてファームウェアファイルを選択し、[更新実行]をクリックします。
ファームウェアファイルがない場合は、「自動更新(オンラインバージョンアップ)」を選択し、[更新実行]をクリックして画面の指示に従ってください。



メモ: 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のPOWERランプが緑色と橙色に交互に点滅中)は、本製品をコンセントから抜かないでください。

以上で設定は完了です。

ランプを消灯する

本製品のランプを消灯したい場合は、以下の手順を行ってください。

1 本製品をコンセントに挿し込みます。

2 本製品のWPSボタンを約1秒押します。

3 ランプが消灯していることを確認します。

メモ: ランプを点灯させる場合は、もう一度WPSボタンを約1秒押します。

以上で設定は完了です。

第２章　設定画面の詳細情報

本章では、本製品の設定画面について説明します。

メモ: 設定画面の操作が5分間ない場合、設定画面から自動的にログアウトします。

トップ画面

本製品の設定画面にログインした際、最初に表示される画面です。

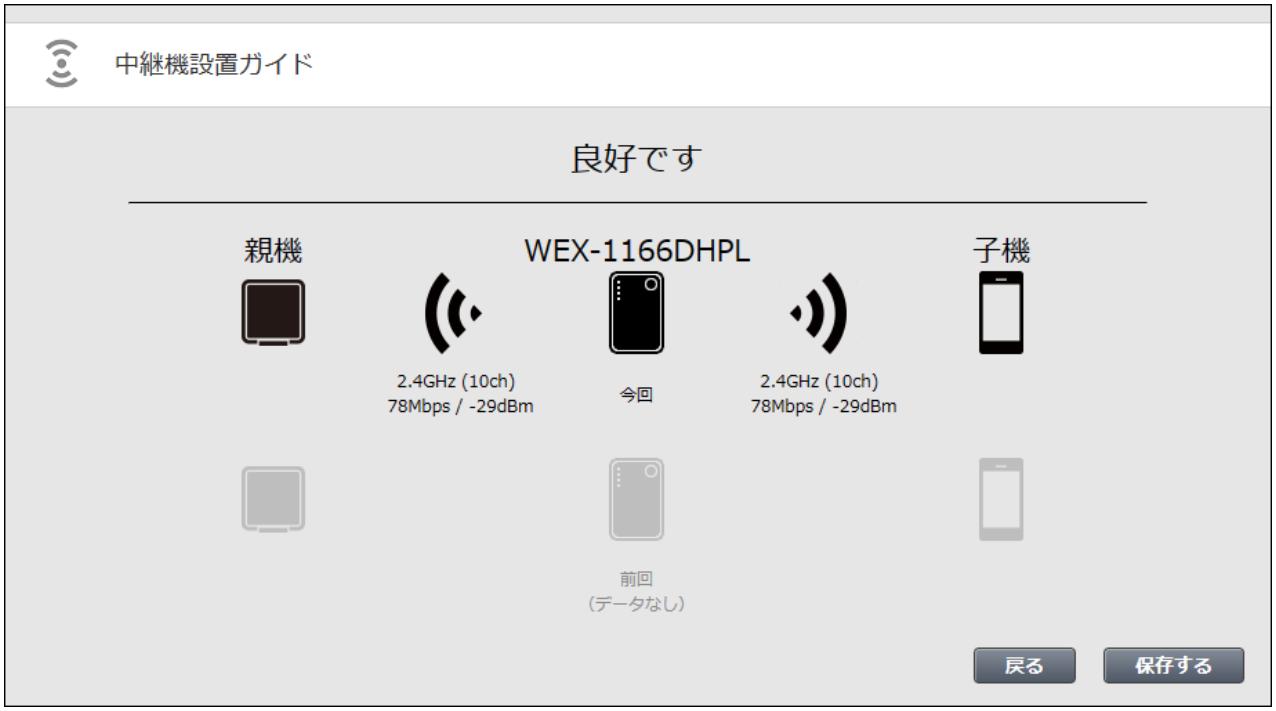


項目	内容
中継機設置ガイド	クリックすると、本製品－Wi-Fiルーター間、および本製品－お使いの機器間の通信状態を確認できます。
無線親機とWPSでつなぐ	クリックして[OK]をクリックすると、Wi-FiルーターとのWPS接続待ち受け状態になります。
無線親機を選択してつなぐ	クリックすると、Wi-Fiルーターと手動接続するための画面が表示されます。
無線設定	本製品の中継機用SSID、接続しているWi-FiルーターのSSIDを表示します。 クリックすると、中継機用SSIDの設定画面が表示されます。
オンラインアップデート	本製品がWi-Fiルーターに接続しているときのみ有効になります。 クリックすると、自動的にインターネットから更新データを検索します。
詳細設定	クリックすると、詳細設定画面が表示されます。

項目	内容
	クリックすると、トップ画面が表示されます。
	Wi-Fiルーターとの接続状況を表示します。Wi-Fiルーターと接続していないとき（が表示されているとき）にクリックすると、「無線親機を選択してつなぐ」の画面が表示されます。
	ファームウェアの更新がある場合などに点滅してお知らせします。クリックすると、本製品が接続しているWi-FiルーターのSSIDを表示します。
	インターネットに接続しているときにクリックすると、取扱説明書やソフトウェアなどのダウンロードページが表示されます。
	設定画面からログアウトします。

中継機設置ガイド

パネルをクリックすると、本製品－Wi-Fiルーター間、および本製品－お使いの機器間の通信状態を確認できます。本製品の設置位置を微調整したい場合に使用します。

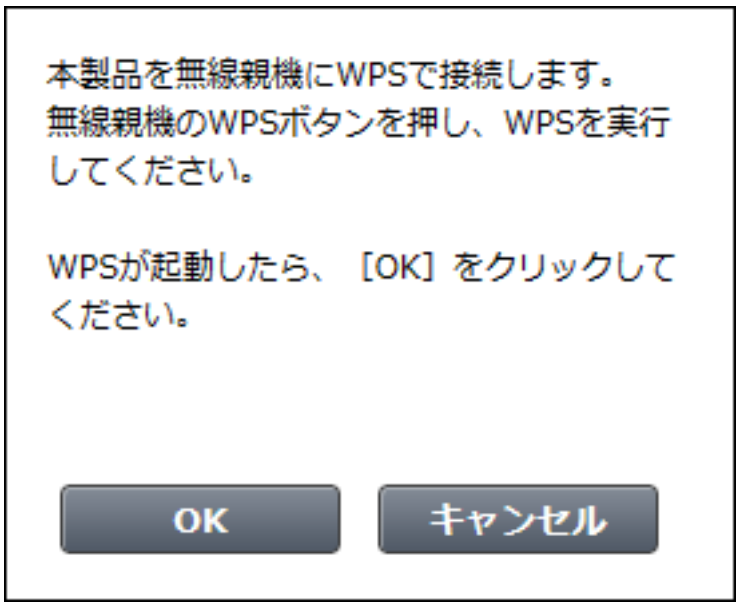


項目	内容
通信状態に関するメッセージ	通信状態によって、以下のメッセージが表示されます。 **良好です** 本製品は最適な位置に設置されています。そのままご使用ください。 **中継機を親機に近づけてください** 本製品－Wi-Fiルーター間の距離が近くなるように設置してください。 **中継機を子機に近づけてください** 本製品－お使いの機器間の距離が近くなるように設置してください。 **親機の無線チャンネルを変更してください** Wi-Fiルーターの取扱説明書を参照して、Wi-Fiチャンネルを変更してください。 **中継機の無線チャンネルを変更してください** 「無線設定」(P.50)の画面から本製品のWi-Fiチャンネルを変更してください。 **中継機を親機に接続してください** 本製品をWi-Fiルーターに接続してください。 **子機を中継機に無線接続してください** お使いの機器がWi-Fiルーターに接続されています。お使いの機器のWi-Fi機能をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、「お使いの機器から確実に本製品へ接続する（中継機用SSIDの使用）」(P.22)を参照してお使いの機器を中継機用SSIDに接続してください。

項目	内容
 （強い）  （普通）  （弱い）	本製品－Wi-Fiルーター間の電波状態を表示します。 アイコンの下には、接続に使用している周波数帯とWi-Fiチャンネル、リンク速度、RSSI値が表示されます。
 （強い）  （普通）  （弱い）	本製品－お使いの機器間の電波状態を表示します。 アイコンの下には、接続に使用している周波数帯とWi-Fiチャンネル、リンク速度、RSSI値が表示されます。
戻る	クリックすると、トップ画面に戻ります。
保存する	クリックすると、現在の通信状態を保存して「前回」欄に表示します。 データは、[保存する]をクリックするごとに上書きされます。

無線親機とWPSでつなぐ

パネルをクリックした際に以下の画面が表示されます。[OK]をクリックすると、本製品がWi-Fiルーターとの WPS接続待ち受け状態になります。

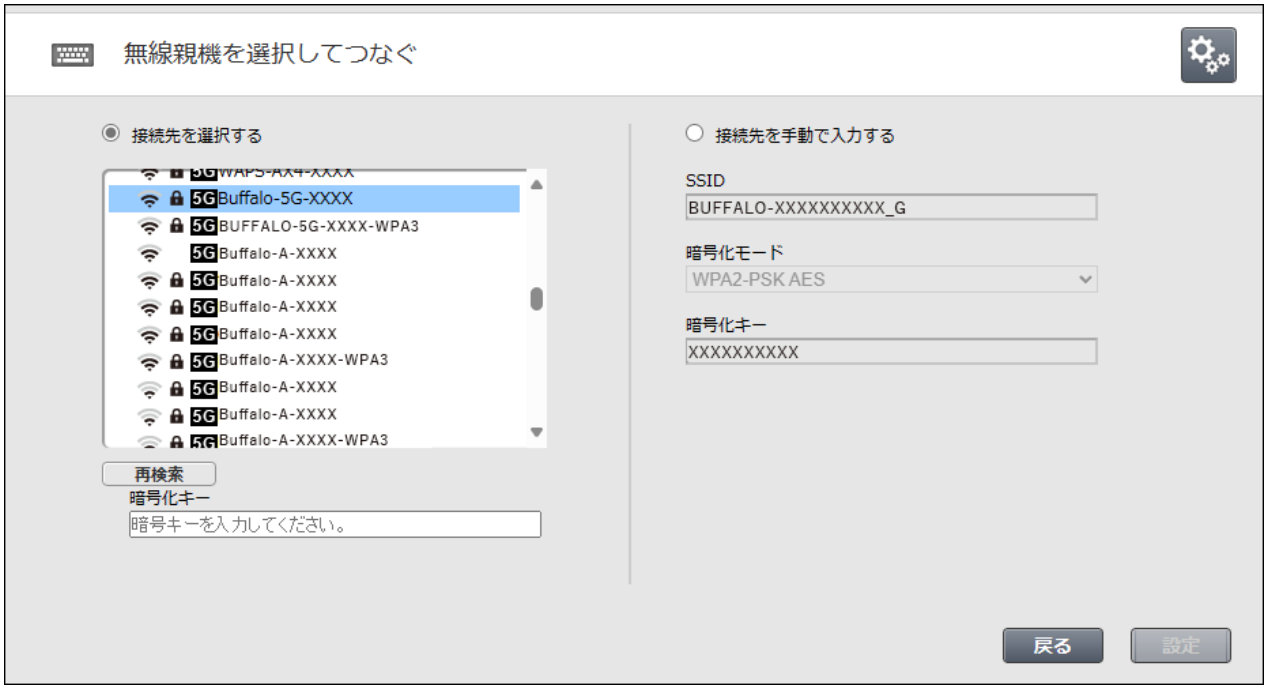


無線親機を選択してつなぐ

パネルまたは画面上部の  をクリックすると表示されます。本製品に接続するWi-FiルーターのSSIDを設定します。

Wi-Fiルーターをリストから選択する場合は「接続先を選択する」を選択すると自動的にWi-Fiルーターの SSIDが検索されるため、接続するSSIDを選択して暗号化キーを入力し、[設定]をクリックしてください。

Wi-FiルーターのSSIDを手動で入力する場合は、「接続先を手動で入力する」を選択し、SSIDや暗号化キーなどの情報を入力して[設定]をクリックしてください。



項目	内容
	詳細設定画面を表示します。
接続先を選択する	選択すると、Wi-FiルーターのSSIDを検索して表示します。
再検索	Wi-FiルーターのSSIDをもう一度検索します。
暗号化キー	接続するSSIDに設定されている暗号化キーを入力します。
接続先を手動で入力する	選択すると、Wi-FiルーターのSSIDを手動で入力できるようになります。
SSID	接続するWi-FiルーターのSSIDを入力します。
暗号化モード	接続するSSIDに設定されている暗号化方式を選択します。
暗号化キー	接続するSSIDに設定されている暗号化キーを入力します。

無線設定

中継機用SSIDの設定を行う画面です。



項目	内容
	詳細設定画面を表示します。
2.4 GHz(11n/g/b) **5 GHz(11ac/n/a)**	Wi-Fiの有効/無効を設定します。
中継機用SSID	本製品が独自に発信するSSIDを入力します(半角英数字記号で32文字まで)。
暗号化モード	中継機用SSIDの暗号化モードを選択します。
暗号化キー	機器との認証で使用する暗号化キーを入力します。 文字列入力の場合、半角英数字記号(大文字/小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。
チャンネル	中継機用SSIDで使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると、電波混雑防止機能により自動的に最適なチャンネルが設定されます。 2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。
帯域	中継機用SSIDで使用する帯域幅を設定します。帯域幅を大きくすると、通信速度の向上が見込めますが、周囲の電波状況が悪い場合は、効果が得られないことがあります。

オンラインアップデート

パネルをクリックすると、自動的にインターネットから更新データを検索します。更新データがある場合は、画面の指示に従って更新してください。



詳細設定画面

LAN

LAN側の設定を行う画面です。

LAN　＞　LAN



項目	内容
LAN側IPアドレス	Wi-FiルーターのDHCPサーバーからIPアドレスを取得する場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得」を選択します。手動で設定する場合は、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。通常は設定する必要はありません。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを設定します。通常は設定する必要はありません。

2.4 GHz(11n/g/b)

2.4 GHz(11n/g/b)のWi-Fiの設定画面です。

無線設定　＞　2.4 GHz(11n/g/b)



項目	内容
無線機能	Wi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	Wi-Fiで使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。 手動でチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

項目	内容
倍速モード	Wi-Fi通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を「144 Mbps(20 MHz)」または「300 Mbps(40 MHz)」に設定します。 **メモ:** 拡張チャンネルは、設定した無線チャンネルに応じて自動的に設定されます。
SSID 1	本製品独自のSSID(中継機用SSID)を使用するかどうかを設定します。「使用する」にチェックを入れると、Wi-Fiルーターに接続している場合も本製品に確実に接続する際などに利用できます。
SSID	中継機用SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、「Extender-2G-XXXX(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、中継機用SSIDを入力します(半角英数字記号で32文字まで)。
無線の認証	各SSIDの認証方式を以下から選択します。 **WPA/WPA2 mixed mode-PSK** 機器とのWi-Fi接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **WPA2-PSK** 機器とのWi-Fi接続の際にWPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **WPA-PSK** 機器とのWi-Fi接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **認証を行わない** 機器とのWi-Fi接続の際に認証を行いません。
無線の暗号化	Wi-Fi通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 **TKIP/AES mixed mode** TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixed mode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 **AES** 暗号化の方式にAESを使用します。事前共有キーを使用して機器とWi-Fi通信します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 **TKIP** 暗号化の方式にTKIPを使用します。事前共有キーを使用して機器とWi-Fi通信します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 **暗号化なし** 暗号化を行わずに通信します。 **メモ:** 通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。
WPA-PSK(事前共有キー)	機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字記号(大文字/小文字の区別あり)を8〜63文字で入力します。16進数入力の場合、0〜9およびa〜f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0〜1440分の範囲で設定します。

項目	内容
SSID 2	本製品がWi-Fiルーターに接続する前は、初期設定用SSIDとして「!Setup-2G-XXXX（XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁）」が設定されています。 Wi-Fiルーターに接続した後は、Wi-FiルーターのSSIDが設定されます。Wi-FiルーターのSSIDが設定されると、SSIDの設定は変更できなくなります。
BSS BasicRateSet	本製品と機器との制御通信フレームの通信速度を設定します。
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。
802.11nプロテクション	従来規格の機器が混在している環境でも、コリジョンなどによって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。
DTIM Period	機器に通知するビーコン応答間隔（1～255）の設定をします。機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。
送信出力	本製品がWi-Fi送信を行うときの電波送信出力を設定します。

5 GHz(11ac/n/a)

5 GHz(11ac/n/a)のWi-Fiの設定画面です。

無線設定　＞　5 GHz(11ac/n/a)



項目	内容
無線機能	Wi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。

項目	内容
無線チャンネル	Wi-Fiで使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。DFSに対応したチャンネルを選択した場合は、本製品が気象レーダーなどを感知すると、自動的にチャンネルが変更されます。 「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。
倍速モード	Wi-Fi通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を173 Mbps(20 MHz)/400 Mbps(40 MHz)/866 Mbps(80 MHz)のいずれかに設定してください。
SSID 1	本製品独自のSSID(中継機用SSID)を使用するかどうかを設定します。「使用する」にチェックを入れると、Wi-Fiルーターに接続している場合も本製品に確実に接続する際などに利用できます。
SSID	中継機用SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、「Extender-5G-XXXX(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、中継機用SSIDを入力します(半角英数字記号で32文字まで)。
無線の認証	各SSIDの認証方式を以下から選択します。 **WPA/WPA2 mixed mode-PSK** 機器とのWi-Fi接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **WPA2-PSK** 機器とのWi-Fi接続の際にWPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **WPA-PSK** 機器とのWi-Fi接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **認証を行わない** 機器とのWi-Fi接続の際に認証を行いません。
無線の暗号化	Wi-Fi通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 **TKIP/AES mixed mode** TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixed mode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 **AES** 暗号化の方式にAESを使用します。事前共有キーを使用して機器とWi-Fi通信します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 **TKIP** 暗号化の方式にTKIPを使用します。事前共有キーを使用して機器とWi-Fi通信します。 無線の認証で「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。 **暗号化なし** 暗号化を行わずに通信します。 **メモ:** 通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。

項目	内容
WPA-PSK（事前共有キー）	Wi-Fiルーターとの認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字記号（大文字/小文字の区別あり）を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f（大文字/小文字の区別なし）の64桁で入力します。
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0～1440分の範囲で設定します。
SSID 2	本製品が親機に接続する前は、初期設定用SSIDとして「!Setup-5G-XXXX（XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁）」が設定されています。 親機に接続した後は、親機のSSIDが設定されます。親機のSSIDが設定されると、SSIDの設定を変更することはできなくなります。
BSS BasicRateSet	本製品と機器との制御通信フレームの通信速度を設定します。
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。
802.11nプロテクション	従来規格の機器が混在している環境でも、コリジョンなどによって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。
DTIM Period	機器に通知するビーコン応答間隔（1～255）の設定をします。機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。
送信出力	本製品がWi-Fi送信を行うときの電波送信出力を設定します。

MACアクセス制限

機器からのアクセスを制限する設定画面です。

無線設定　＞　MACアクセス制限



項目	内容
無線パソコンの接続	機器からのWi-Fi接続を制限するかどうかを設定します。
登録リスト	MACアクセス制限で、接続を許可する機器のMACアドレスが表示されます。 MACアドレスの登録は、[登録リストの編集]をクリックして行います。 **MACアドレス** MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。 **接続状態** リストに登録した機器が現在接続しているかどうかを表示します。接続中であれば「○」、未接続であれば「×」が表示されます。
登録リストの編集	登録したMACアドレスを編集できます。 **MACアドレス** リストに登録した機器のMACアドレスが表示されます。 **操作** [修正]をクリックすると、登録したMACアドレスを修正できます。 [削除]をクリックすると、登録したMACアドレスが削除されます。
登録するMACアドレス	接続を許可する機器のMACアドレスを入力します。 [新規追加]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。
検出された無線パソコン一覧	本製品にWi-Fi接続している機器のMACアドレスをリストに登録できます。 **MACアドレス** 本製品にWi-Fi接続している機器のMACアドレスが表示されます。 **操作** [登録]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。[現在の状態を表示]をクリックすると、現在の状態が表示されます。

中継機能(WB)

中継機能の設定画面です。

無線設定　＞　中継機能(WB)



項目	内容
中継機能の状態	中継機能の状態を表示します。
SSID	本製品の接続先のSSIDが表示されます。
セキュリティー	接続先との接続で使用しているセキュリティーの種類が表示されます。
MACアドレス	Wi-Fiルーターに接続する際のMACアドレスが表示されます。MACアクセス制限を使用する場合、こちらのMACアドレスをWi-Fiルーターに登録します。
2.4 GHz/5 GHz選択	本製品－Wi-Fiルーター間のWi-Fi接続に5 GHzを優先するか2.4 GHzを優先するかを設定します。

項目	内容
手動設定をする	ボタンをクリックすると、本製品周辺のWi-Fiルーターが検索されます。 接続したいWi-Fiルーターを選択し、暗号化キーを入力すると、接続処理が完了します。
無線LAN親機とのWPSを開始する	Wi-FiルーターのWPSボタンを押してからこのボタンをクリックすると、 Wi-FiルーターとのWPS接続を行います。

システム設定

本製品のシステムに関する設定画面です。

管理　＞　システム設定



項目	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザー名です。「admin」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8文字までで設定します。

項目	内容
無線LANからの設定を禁止する	本製品にWi-Fi接続した機器から、本製品を設定できないようにします。
有線LANからの設定を禁止する	本製品のLAN端子に接続した機器から、本製品を設定できないようにします。
NTP機能	本製品の内部時計を、NTPサーバーを使って設定するかどうかを指定します。
NTPサーバー	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期(1～24時間ごと)を設定します。
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。

ログ

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定画面です。

管理　＞　ログ

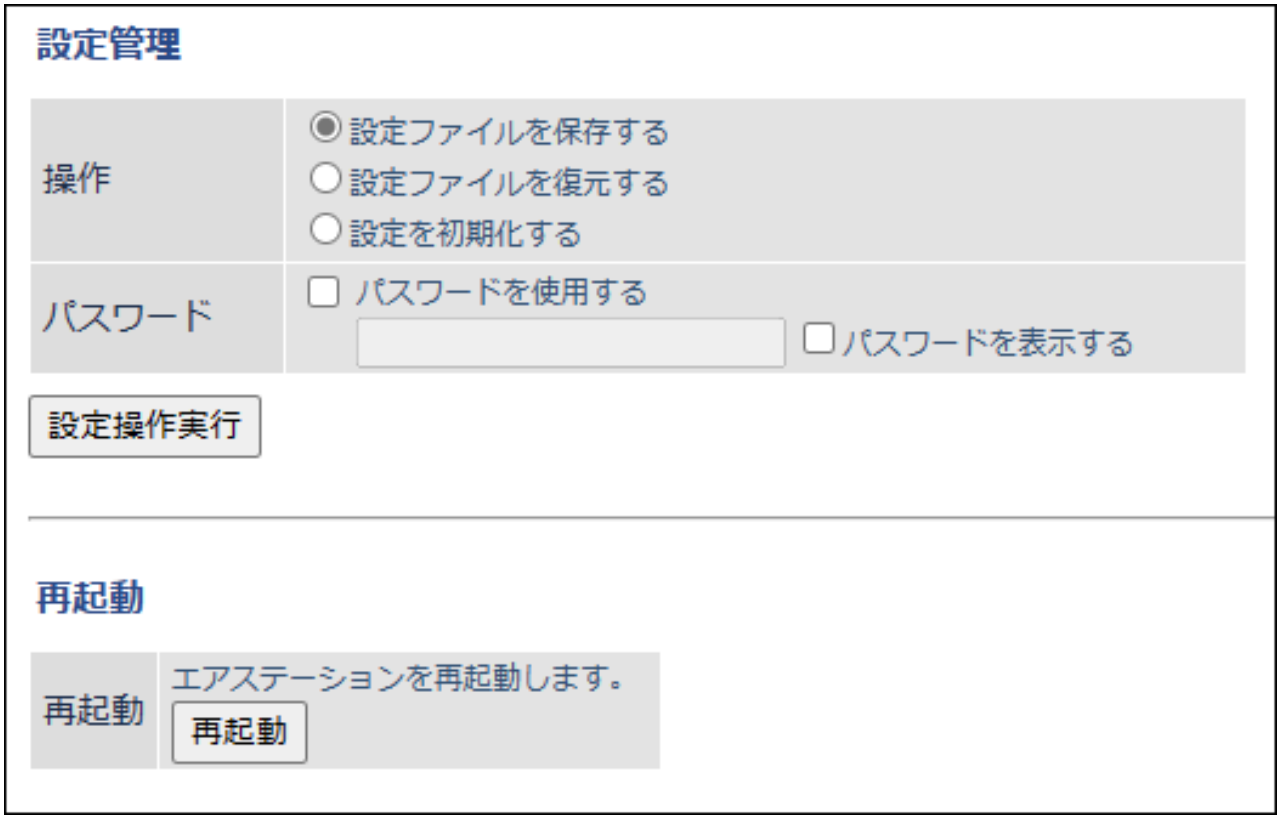


項目	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
詳細なログ取得	追加で取得するログ情報を選択します。

設定管理/再起動

本製品の設定の保存、復元や初期化、再起動を行う画面です。

管理　＞　設定管理/再起動



項目	内容
操作	操作内容を選択します。 **設定ファイルを保存する** 本製品の設定内容を設定ファイルに保存します。[設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルをパスワードで暗号化する場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。 パスワードは、半角英数字と「_」で、1～8文字で設定します。 **設定ファイルを復元する** 本製品の設定を、設定ファイルから復元します。 「設定ファイル」欄の[ファイルを選択]をクリックして設定ファイルを指定し、[設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルがパスワードで暗号化されている場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。 **設定を初期化する** 本製品の設定を初期化して、再起動します。[設定操作実行]をクリックしてください。
再起動	クリックすると、本製品が再起動します。

ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

管理　＞　ファームウェア更新



項目	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	ファームウェアの更新方法を設定します。 **ローカルファイル指定** パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。 **自動更新(オンラインバージョンアップ)** インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルをダウンロードして更新を行います。

項目	内容
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。
ファームウェア自動更新機能	ファームウェアの自動更新方法を設定します。 **重要な更新のみ行う** セキュリティーに関わる脆弱性の対応など、重要な更新があった場合、ファームウェアを自動的にダウンロードして本製品へ適用します。 **常に最新版に更新する** 本製品の新しいファームウェアがリリースされると、自動的にダウンロードして本製品へ適用します。 **更新せずに通知のみ行う** 新しいファームウェアがリリースされたときに、設定画面に通知します。本製品への適用は行いません。 **更新しない** 新しいファームウェアがリリースされても、設定画面への通知や本製品へ適用は行いません。
現在時刻	現在の時刻が表示されます。
更新時刻	自動更新を行う時間帯を設定します。

システム

本製品の現在の状態が表示されます。

ステータス　＞　システム



項目	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エアステーション名	エアステーション名が表示されます。
LAN	LAN側の情報が表示されます。
中継機能	接続しているWi-Fiルーターの情報が表示されます。
無線(2.4 GHz)	2.4 GHz帯の情報が表示されます。
無線(5 GHz)	5 GHz帯の情報が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

ステータス　＞　ログ

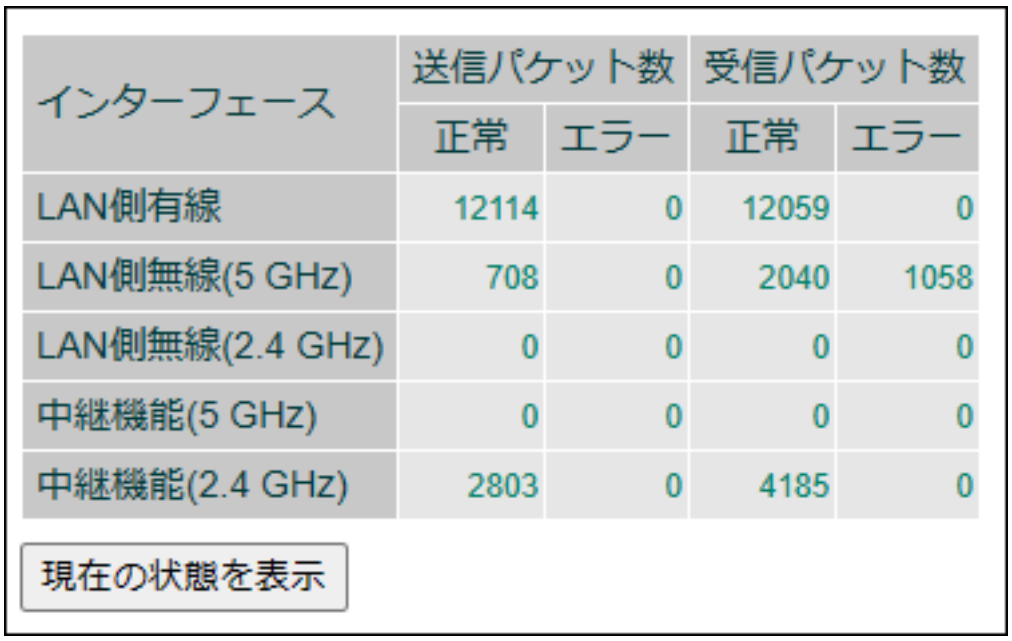


項目	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

ステータス　＞　通信パケット



インターフェース	送信パケット数		受信パケット数	
	正常	エラー	正常	エラー
LAN側有線	12114	0	12059	0
LAN側無線(5 GHz)	708	0	2040	1058
LAN側無線(2.4 GHz)	0	0	0	0
中継機能(5 GHz)	0	0	0	0
中継機能(2.4 GHz)	2803	0	4185	0

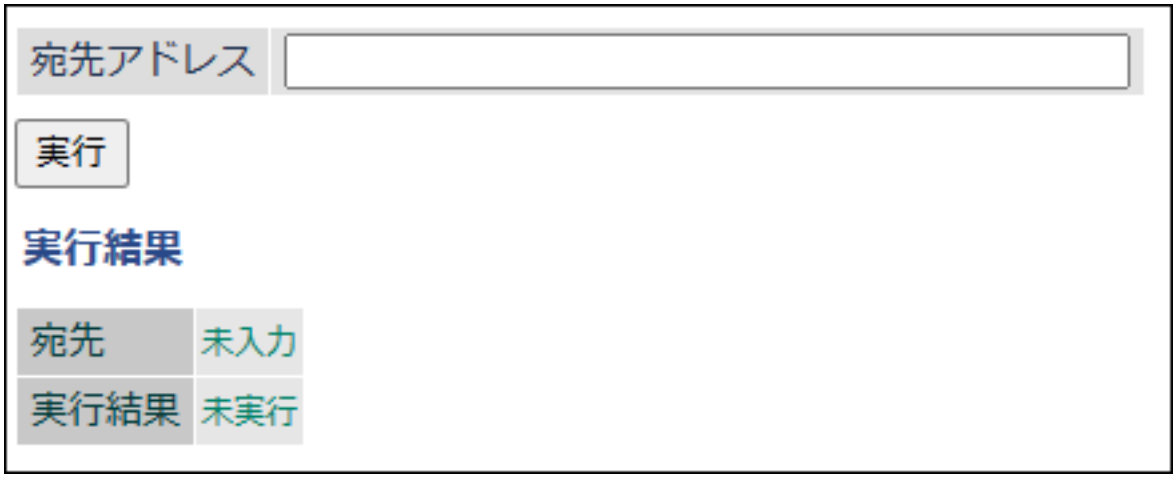
現在の状態を表示

項目	内容
送信パケット数	LAN側有線/LAN側無線/中継機能で送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	LAN側有線/LAN側無線/中継機能で受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上のほかの機器との接続確認を行う画面です。

ステータス　＞　診断



項目	内容
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレスまたはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

第３章　困ったときは

Wi-Fi接続が切れる/不安定、通信が遅い

原因1　本製品やWi-Fiルーターの動作が不安定になっている

本製品やWi-Fiルーターへの負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったんWi-Fiルーターの ACアダプターまたは本製品をコンセントから抜いて、もう一度挿し込んでください。

原因2　本製品とWi-Fiルーター、または本製品と機器との距離が遠い

本製品とWi-FiルーターやWi-Fi接続している機器との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。本製品の親機接続ランプ()が速く緑色に点滅している場合は、Wi-Fiルーターに近づけるなどして、ランプが緑色に点灯する場所またはゆっくり緑色に点滅する場所を探してください。すでにそのような場所に設置している場合は、Wi-Fiルーターや本製品にWi-Fi接続している機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しをよくしてください。

原因3　機器がWi-Fiルーターにつながっている

機器とWi-Fiルーターが接続された状態で本製品の中継設定を行うと、機器が本製品に近い場所にあっても、離れた場所にあるWi-Fiルーターに接続したままになることがあります。

本製品の子機接続ランプ()が緑色に点灯しているかどうかを確認してください(本製品に接続している機器が1台もないときは、消灯しています)。

子機接続ランプ()が消灯している場合、または緑色に点灯していてもつながらない場合は、機器のWi-Fi機能をOFFにしてからもう一度ONにしてください。本製品に接続しているかどうかわからない場合は、中継機用SSIDに接続してください。中継機用SSIDへの接続手順は、「お使いの機器から確実に本製品へ接続する(中継機用SSIDの使用)」(P.22)を参照してください。

原因4　本製品またはWi-Fiルーター周辺の電波環境が悪い

本製品とWi-Fiルーターや本製品とWi-Fi接続している機器が2.4 GHz帯で接続している場合、電子レンジなど、本製品と同じ2.4 GHz帯の電波を発する機器が本製品やWi-Fiルーターの周囲で動作していると、Wi-Fiによる通信が不安定になることがあります。
それらの機器を本製品やWi-Fiルーターから遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4 GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品やWi-Fiルーターから遠ざけることができない場合は、Wi-FiルーターのWi-Fiチャンネルを変更してください。2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

原因5　本製品またはWi-Fiルーターのファームウェアが古い

上記の対策を行っても本製品とのWi-Fi接続が切れたり不安定な状況が続いたりする場合は、本製品またはWi-Fiルーターのファームウェアを最新版に更新してください。

原因6　Wi-Fiルーターが省電力モードで動作している
Wi-Fiルーターで節電機能を使用している場合、設定内容によっては、Wi-Fi接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、Wi-Fi接続できるように設定してください。

Wi-Fiでつながらない

原因1　本製品やWi-Fiルーターの動作が不安定になっている
本製品やWi-Fiルーターへの負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったんWi-FiルーターのACアダプターまたは本製品をコンセントから抜いて、もう一度挿し込んでください。

原因2　本製品とWi-Fiルーター、または本製品と機器との距離が遠い
本製品とWi-FiルーターまたはWi-Fi接続している機器との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。本製品の親機接続ランプ()が速く緑色に点滅している場合は、Wi-Fiルーターに近づけるなどして、ランプが緑色に点灯する場所またはゆっくり緑色に点滅する場所を探してください。すでにそのような場所に設置している場合は、Wi-Fiルーターや本製品にWi-Fi接続している機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しをよくしてください。

原因3　セキュリティーソフトが動作している
Wi-Fi接続する機器にウイルス対策ソフトなどのセキュリティーソフトがインストールされている場合、Wi-Fi接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティーソフトを終了して、Wi-Fi接続設定を完了してからセキュリティーソフトを起動してください。

原因4　Wi-Fi接続の設定が間違っている
Wi-Fi接続の設定が間違っていると、本製品にWi-Fiで接続できません。本製品がWi-Fiルーターに正しく接続しているかを確認してください。Wi-Fiルーターと接続しているときは、本製品の親機接続ランプ()が緑色に点灯/点滅します。Wi-Fiルーターと正しく接続されていることを確認したら、本製品に同梱の取扱説明書を参照して本製品に接続してください。

原因5　本製品にMACアクセス制限、Wi-FiルーターにANY接続拒否やMACアクセス制限が設定されている
Wi-FiルーターにANY接続拒否の設定がされていると、機器から検索しても表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。
本製品やWi-FiルーターにMACアクセス制限の設定がされていると、登録していない機器からはWi-Fi接続できません。機器のMACアドレスを本製品またはWi-Fiルーターに登録してからWi-Fi接続してください。
また、Wi-FiルーターにMACアクセス制限が設定されている場合は、「Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を本製品にも適用する場合」(P.26)を参照して、本製品のMACアドレスをWi-Fiルーターに登録する必要があります。

原因6　Wi-Fiルーターが省電力モードで動作している
Wi-Fiルーターの節電機能を使用している場合、設定内容によっては、Wi-Fi接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、Wi-Fi接続できるように設定してください。

設定画面が表示できない

原因1　本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品をコンセントから抜き、もう一度コンセントに挿し込んでください。

原因2　設定用機器が本製品に接続されていない

「エアステーション設定ツール」を使用しても本製品が表示されない場合は、設定用機器が接続しているネットワークに本製品が接続していない可能性があります。本製品に確実に接続するために、中継機用SSIDに接続してください。中継機用SSIDへの接続手順は、「お使いの機器から確実に本製品へ接続する（中継機用SSIDの使用）」(P.22)を参照してください。

POWERランプが点灯しない

原因1　本製品がコンセントに完全に挿し込まれていない

本製品がコンセントに完全に挿し込まれているか確認してください。

原因2　ランプが消灯設定になっている

ランプが消灯設定になっていることが考えられます。WPSボタンを約1秒間押してください。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、下記の手順を行ってください。

1 本製品の電源を入れた状態で、本製品側面のRESETボタンをPOWERランプが緑色に点滅するまで（約5秒間）、先の細いもの（つまようじなど）で長押しします。

2 本製品が再起動します。

3 本製品の再起動が完了すると、POWERランプが緑色に点灯します。

以上で、設定の初期化は完了です。

付録

製品仕様

無線LAN(Wi-Fi)インターフェース	
準拠規格(最大転送速度)	IEEE802.11ac:866Mbps IEEE802.11n:300Mbps IEEE802.11a、IEEE802.11g:54Mbps IEEE802.11b:11Mbps 表示の数値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
周波数範囲(中心周波数)	IEEE802.11a / IEEE802.11ac:5.2～5.7GHz(36 / 40 / 44 / 48 / 52 / 56 / 60 / 64 / 100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140/144ch) IEEE802.11g / IEEE802.11b:2.4 GHz(1～13ch) 本製品と同一の周波数帯を使用する機器がある場合、電波干渉により通信速度が遅くなるなどの障害が発生する可能性があります。
セキュリティー	WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK(AES)、WPA/WPA2 mixed PSK(AES/TKIP)、MACアクセス制限
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3u(100BASE-TX)/ IEEE 802.3(10BASE-T)
データ転送速度	100/10Mbps(自動認識) 表示の数値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。
データ伝送モード	半二重/全二重(自動認識)
伝送路符号化方式	4B5B/MLT-3(100BASE-TX)/マンチェスターコーディング(10BASE-T)
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
端子	100 BASE-TX/10 BASE-T 兼用端子(AUTO-MDIX)
その他	
電源	AC 100 50/60Hz
消費電力	6.6W(最大)
外形寸法	65(W)×95(H)×40(D)mm(本体のみ)
質量	約122g
動作環境	0～40°C、10～85%(結露しないこと) 本製品は屋内使用に限ります。

初期設定一覧

機能	設定項目	出荷時設定
LAN	LAN側IPアドレス	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 （自動取得できない場合は、192.168.11.210）
	デフォルトゲートウェイ	−
	DNS（ネーム）サーバーアドレス	−
2.4 GHz（11n/g/b）	基本設定	
	無線機能	使用する
	無線チャンネル	自動
	倍速モード	144Mbps（20MHz）
	SSID 1	
	SSID 1	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-PSK
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK（事前共有キー）	製品付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	SSID 2	
	SSID 2	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
	拡張設定	
	BSS BasicRateSet	1, 2, 5.5, 11Mbps
	Multicast Rate	1Mbps
	802.11nプロテクション	使用しない
	DTIM Period	1
	送信出力	100%

機能	設定項目	出荷時設定
5 GHz(11ac/n/a)	**基本設定**	
	無線機能	使用する
	無線チャンネル	36チャンネル
	倍速モード	866Mbps(80MHz)
	SSID 1	
	SSID 1	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-PSK
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK(事前共有キー)	製品付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	SSID 2	
	SSID 2	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
	拡張設定	
	BSS BasicRateSet	6, 12, 24Mbps
	Multicast Rate	6Mbps
	802.11nプロテクション	使用しない
	DTIM Period	1
	送信出力	100%
MACアクセス制限	無線パソコンの接続(2.4 GHz)	制限しない
	無線パソコンの接続(5 GHz)	制限しない
	登録リスト	未登録
中継機能(WB)	中継機能の状態	未接続
システム設定	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	管理ユーザー名	admin(変更することはできません)
	管理パスワード	製品付属のセットアップカードに記載の値
	無線LANからの設定を禁止する	使用しない
	有線LANからの設定を禁止する	使用しない
	NTP機能	使用する
	サーバー名	ntp.nict.jp
	確認時間	24時間毎

機能	設定項目	出荷時設定
ログ	**ログ情報転送機能**	使用しない
	Syslogサーバー	未設定
	転送するログ情報	IPフィルター、DHCPクライアント、DHCPサーバー、WPS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク
	詳細なログ取得	取得しない
ファームウェア更新	**更新方法**	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	空欄
	ファームウェア自動更新機能	重要な更新のみ行う
	更新時刻	毎日4:00～4:59

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解/改造すること
  - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 電波法により、W52、W53は屋外利用禁止です(法令により許可された場合を除く)。
- 本製品は、次の場所で使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4 GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- 本製品の使用するWi-Fiチャンネル(2.4 GHz帯の1～13チャンネル)は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - 産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

    (1) 構内無線局(免許を要する無線局)

    (2) 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- 本製品を使用する際は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4 GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

- 「新4K8K 衛星放送」と本製品は、相互に電波干渉を引き起こすことがあります。
  シールド性能の高い衛星放送用受信設備を使用してください。
  詳しくは、総務省のホームページ「4K 放送・8K 放送　情報サイト」(https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/4k8k_suishin/radio-frequency-interference.html)を参照してください。

Wi-Fi(無線LAN)製品ご使用時におけるセキュリティーに関する注意

Wi-Fi(無線LAN)では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどとWi-Fiアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される
- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、Wi-Fi(無線LAN)製品は、セキュリティーに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人　電子情報技術産業協会(JEITA)
「無線LANのセキュリティに関する注意事項」より

免責事項

- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計・製造されています。日本国外での使用における故障・不具合についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に契約の不適合があった場合、無償にて当該契約不適合を修補し、または契約不適合のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該契約不適合に基づく損害賠償の責に任じません。
- 本書に記載された責任は、日本国内においてのみ有効です。

商標・登録商標

AirStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では一部を除き、™、Ⓡ、Ⓒなどのマークは記載していません。